

RH'-0021

0006

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

74401

昭和二一 三三八六 平

新潟 七月一日一四二〇發
本省 二日一、〇〇〇着
新潟縣涉外課長

絡設

設 營 部 長

(警察無線經由)

(勞務月報報告の件)

勞務月報

A 二八二

B 二八一

C 二八一 名

D 一一〇七四七圓七二錢

E 該當無し

前月繰越分並に請負無し、他に解雇手當三七一圓六九錢

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(了)

外務省

記帳済

0001

電信寫

74401

昭和二一 三三八四 平

宇都宮 七月一日一四二二發
本省 二日一、〇〇〇着

絡設

設 營 部 長

(警察無線經由)

(勞務月報報告の件)

勞務月報六月分

A 二八五

B 二八五

C 三一〇

D 一〇〇五〇三圓一〇錢

E 無し

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(了)

外務省

記帳済

0002

RH'-0021

0007

電信寫

2480

昭和二一 三三九〇 宮 官崎 七月一日一九三〇 發 絡設
 本省 二日一七一〇 着

設營部長 宮崎縣

(勞務月報報告の件)

勞務月報六月分

A 一三四
 B 一二四
 C 八九
 D 八八、八五九、八〇
 E 悉し

配布先 文、電、秘、絡設各課

(了)

記帳済

8883

外務省

電信寫

2480

昭和二一 三三九〇 平 高知 七月一日一九三〇 發 絡設
 本省 二日一七一〇 着

香田 總 裁 高 知 縣

(勞務月報)

六月分勞務月報

A、一〇三七
 B、一〇三四
 C、五三一
 D、八三六八〇 圖四七續
 E、無し

配布先 文、電、絡設、絡設廣、務、經

(了)

記帳済

8884

外務省

RH'-0021

0008

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

p4.40.1

昭和二一 三三八〇 平 岡山 七月一日一六〇七發 絡設
本省 二日〇九二〇着
岡山縣教育民生部長

(至急)

(勞務月報の件)

六月分勞務供出及賃金支拂狀況

A、二五二四

B、二四七〇

C、一〇一五

D、一四七三八七四圓四九錢

E、五七七圓五〇錢

配付先 文、電、絡祕、絡設庶、營、經

(了)

外務省

記帳齊

8005

電信寫

p4.40.1

昭和二一 三四一六 平 奈良 七月二日一六四七發 絡設
本省 三日一九〇〇着
番出張所長

(至急)

(勞務月報に關する件)

D項中(日傭一二〇、五六九圓とあるは一、二〇五、六九五圓の誤りなり)一人當り平均九〇〇圓となるは特殊技術者多き爲めなり

配布先 文、電、次長、絡設部長、絡祕、絡設庶、營、經

(了)

外務省

8005

電信寫

2440 /

昭和二一 三四三五 平 金澤 七月二日一六〇〇發 絡股
 本省 三日一六〇〇發
 石川縣

次 長 (勞務月報の件)

六月
 A 五四四一七 B 五四四一七 C 三三四 D 三〇三二五三圓 E
 無し

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(丁)

記帳済

0007

外務省

電信寫

2440 /

昭和二一 三四〇二 平 前橋 七月二日一六〇〇發 絡設
 本省 三日一六〇〇發
 群馬縣内務部長

次 長 (至急)

(勞務月報)

六月勞務月報
 A 二〇六一 B 二〇五六
 C 六〇七 D 八一九 二六五圓四五 (内前月分繰越拂四二八
 九六一圓八九) 同なし

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

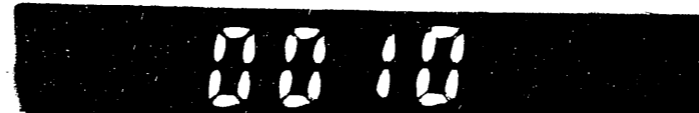
(丁)

記帳済

0008

外務省

RH'-0021



電信寫

2480 /

昭和二十一 五四〇五 平 三重縣廳内 七月二日 一〇二五 着 終設

設 營 部 長 三 重 縣

(勞務月報の件)

進駐軍關係勞務月報通報の件

六月分月報左記の通り報告す

記

A 八七名 B 八七名 C 三一名 D 八三〇三一圓二錢 E 該

當無し

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(了)

外務省

0009

電信寫

2480 /

昭和二十一 三四二三 平 高知 七月二日 一六二二 發

本省 三日 一三〇〇 着 絡設

吉 田 總 裁 高知縣知事

(警察無線經由)

(勞務月報に關する件)

勞務月報(六月分)

A、一〇三七

B、一〇三四

C、五二二

D、八三六、六八〇圓四七錢

E、なし

配布先 文、電、絡祕、絡設庶、營、經

(了)

外務省

0010

RH'-0021

電信寫

74401

昭和二一 三四一九 平 福井 七月二日 三十分發 絡設
設 營 部 長 三日 一〇〇分着 福井縣知事

(六月分勞務月報)

勞務月報六月分

A、一〇七人

B、一〇六人

C、七六人

D、四七、九二七圓〇五錢

E、無し

配布先 文、電、絡秘書、絡設の庶、勞、經

(了)

外務省

記帳簿

0011

電信寫

74401

昭和二一 三四二二 平 富山 七月二日 四十分發 絡設
本省 三日 一三〇〇着 富山縣

菅田 總裁

(警察無線經由)

(勞務月報に關する件)

勞務月報(六月分)

A、一八、一三名

B、一八、一三名

C、八六五、一圓七五錢

D、なし

(了)

配布先 文、電、絡祕、絡設庶、營、經

外務省

記帳簿

0012

RH'-0021

0012

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

7440.1

昭和二一 三四六二 平 鳥取 七月二日 〇六〇〇 發 絡股
 本省 四日 〇〇〇〇 着

吉田 總 裁 鳥取 縣 知 事

(警察無線經由)
 (勞務月報に關する件)

設營部長へ
 進駐軍に關する勞務月報

A 四三四七六
 B 一四四九
 C 一五一二
 D 七六三二四三圓九一錢
 E なし

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

記帳簿

9013

電信寫

7440.1

昭和二一 三四六一 平 福島 七月二日 〇六〇〇 發 絡設
 本省 四日 〇〇〇〇 着 福島縣内務部長

總 裁

(警察無線經由)
 (勞務月報に關する件)

次長へ

進駐軍關係六月分勞務月報報告

A 一二五三人
 B 一二七二人
 C 六九四人
 D 六七八四四六圓七〇錢
 E なし

(丁)

外務省

記帳簿

9014

RH'-0021

0013

電信寫

74.9.1

昭和二一 三四二四 平 秋田 七月三日 一〇分 着 絡設

吉田 總裁 秋田縣労働課長

(警察無線經由)

(勞務月報に關する件)

勞務月報

A、五六九、八人

B、四五一人

C、三四三人

D、二四五、〇一〇圓四〇錢

前月分繰越を含む

E、なし

(了)

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

外務省

0015

電信寫

PHAD.1

昭和二一 三四三三 平 横須賀 七月三日 一〇分 着 絡設

吉田 總裁 佐藤事務局長

第五〇號(至急)

(勞務月報報告に關する件)

貴電合第七二號に關し

六月末に於ける調査左の通り

A、五〇三三、二

B、四七五二、七

C、一八二一(日幣)

D、五月分繰越し拂高五三三四一六圓三五〇

六月分支拂高二一四九六二圓三八〇

進捗以來累計三一二一六四四圓二三〇

E、大塚探査三〇一四キロ、見積價格六六七二圓六〇〇

外務省

0016

電信寫

但し右は聯合軍より引継ぎ物資を市役所に於て無償配給(一名に付二〇〇瓦)
 横濱終運、神奈川知事へ轉電せり(丁)
 配布先 文、電、衣長、給設部長、給祕、給設庶、管、經

0018

0017

寫送先

大 次 官 文書課長
 總 務 長 官 約 查 理 報 告 官 人 情 管 調 條 總 長
 文 書 課 長 會 計 官 文 書 課 長 文 書 課 長
 總 務 長 官 總 務 長 官 總 務 長 官 總 務 長 官
 總 務 長 官 總 務 長 官 總 務 長 官 總 務 長 官
 總 務 長 官 總 務 長 官 總 務 長 官 總 務 長 官

大 次 官

文書課長

74.4.1

昭和二一 三四四〇 平 佐世保 七月三日一六〇〇發 給設
 本 省 四日九一五着
 三浦事務局長
 吉 田 總 裁
 第一五六號(至急)
 (勞務月報訂正の件)
 往電第一五二號に關し左の通り訂正ありたい
 A、 八、五〇一
 B、 八〇、八八〇
 C、 四、〇一〇
 D、 六、一五六、九五六圓七〇錢
 E、 六〇、一九〇圓二一錢
 配布先 文、電、給祕書、給設庶、管、經
 (丁)

外 務 省

RH'-0021

0015

電信寫

P440.1

昭和三十一	三四四四	平	德島	七月五日一五四〇發	絡設
吉田	總裁		本省	四日〇九一五着	德島縣知事
(勞務月報の件)					
六月分勞務月報	A	九四			
	B	七九七			
	C	五九三			
	D	四六四五七			
	E	四六四五七			
(了)					

外務省

電信寫

P440.1

昭和三十一	三四四四	平	札幌	七月五日一五二〇發	絡設
本省	四日〇九一五着				
(勞務月報の件)					
六月分勞務月報	A	九四			
	B	七九七			
	C	五九三			
	D	四六四五七			
	E	四六四五七			
(了)					

外務省

RH'-0021

0016

電信寫

2440.1

昭和二一 三四八三 平 青森 七月三日一四三三發 絡設
本省 四月二〇〇〇着 青森縣内務部長

設管部長

(警察電信經由)

(六月勞務月報)

六月分勞務月報

A 一四三七

B 一四一三

C 六七三

D 八六四・〇八一圓三六錢

E 五六五三圓五〇錢

D項の中前月分繰越支拂額五九・九八四圓

配布先 文、電、絡秘、絡設の庶、管、經

(了)

外務省

記帳済

6624

電信寫

2440.1

昭和二一 三四五八 平 宮城 七月三日一四三三發 絡設
本省 四月一〇〇〇着 宮城縣知事

青田 總裁

(警察無線經由)

(勞務月報に関する件)

設管部長

六月分勞務月報

A 一〇二〇七

B 九〇二九

C 五五九七

D 六三〇三〇九四圓四四錢

目とし

配布先 絡秘、絡設庶、管、經、文、電

外務省

記帳済

6622

RH'-0021

0017

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

2440/

昭和二一 三四六〇 平 福岡 七月三日 八〇〇 終設

編 載 本省 四日 八〇〇 着 福岡縣外務局長

(番書無線理由)
(勞務月報に関する件)

設管部長へ

A 一二三三〇

B 一六〇八七

C 一六一五五

D 六一三六五五〇四五

但しDには約一六五〇人の常備人の賃銀を含む

(丁)

外務省

記帳済

6023

電信寫

2440/

昭和二一 三四四八 平 大阪 七月三日 一六二一 終設

本省 四日 〇九四五 着

吉田總裁

小瀬事務局長

第一〇八號 (至急)

(勞務月報報告の件)

設管部長へ

大阪府六月分勞務月報左の通り報告する

A 六九三〇

B 六九〇六

C 七一二五

D 三九六八四二三圓八六錢 (殘業賃金一二〇二二三圓二四錢及

五月分繰越し支拂人員三〇七四名分を含む本月末支拂者一九

〇名分を含まず)

一五四圓四七錢

配布先 文、電、結駁書、結設庶、管、無

(丁)

外務省

記帳済

6024

RH'-0021

0018

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

P440.1

外務省

昭和二一 三五二二 平 山口 七月三日 八四七發 絡設
本省 七月六日 一〇〇着

吉田 總裁

山口縣内務部長

(辭察無線經由)

(勞務月報に關する件)

A 一般勞務者二六七四、三人技術者一三四九、五人女六三七、九
人、B 一般勞務者二六〇八、四人技術者一三二二、二人女六三七
七人、C 二七九八人技術者一五二六人女七〇三人、D 一般勞務者
二二二一五一回技術者九一〇二六圓女一八九七三一圓、E 水し
配布先 文、電、磁、絡設庶、營、經

0026

記帳済

P440.1

外務省

昭和二一 三四五三 平 熊本 七月三日 一四四發 絡設
本省 四日 一〇〇着

吉田 總裁

八木 事務局長

尾

第九四號(至念)
(六月分勞務月報)

六月分勞務月報

A、一四九九

B、一四五三

C、七九五

D、九九〇、九六四圓一〇錢

E、水し

記帳済

0025

RH'-0021

0019

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

P440/

昭和一一 五月四日 平 大津 七月四日 一八八號 終設
 本省 五日 八〇〇着

次 長
 (勞務月報に關する件)
 六月勞務月報
 A 九四九
 B 九四九
 C 四六八
 D 五三五七五七四一八號
 E 一八二〇八四八九號

配布先 文、電、祕書、終設庶、管、經

(丁)

外務省

記録

0027

電信寫

P440/

昭和一一 五月四日 平 大津 七月四日 一八八號 終設
 本省 五日 八〇〇着

設 備 部 長
 (勞務月報の件)
 六月勞務月報
 A 常備 一五二一 日備 六八四一
 B 常備 一五一九 日備 六八九三
 C 常備 五七三 日備 六二七三
 D 常備 八八九七八七四日備 四四八六六五五五〇號
 E なし

配布先 文、電、祕書、終設庶、管、經

(丁)

外務省

記録

0028

RH'-0021

0020

112

昭和二一 三五二一 平 山形 七月四日 一五二〇 發 絡政
本省 六日 一〇〇 着

吉田總裁

山形縣内務部長

(警察無電經由)

(勞務月報に關する件)

六月分勞務月報

山形市小川 セツロウ、塚田 マサカツ、西田 ソウジロウ、水口 ゲ
ンスケ、ヤマガセイキチ、米澤市長谷川吉藏の各住宅は將校用
宿舍として接收される。

一、常備 七〇七 日備 一二八七 請負 七二三
二、常備 六八一 日備 一二〇五 請負 七〇四
三、常備 六五八 日備 一二三四 請負 一〇一四
四、常備 三七九〇 三二圓内繰越支拂額 五三九八 八圓四六錢 日備 一一
〇二七五〇 圓二一錢内繰越支拂額 六〇九二 四八圓七二錢 請負 一

外務省

0000

四九九二七圓内繰越支拂額 九四七二四圓
六、該當なし。
七、勤務管理等に關しては遺憾無きを期しつつあり。
八、該當なし。
配付先 文、電、次長、絡設部長、絡秘書、絡設庶、營、經

外務省

0000

RH'-0021

0021

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

P4401

訂正報

主管 絡股

七月四日來電德島縣知事發吉田總裁宛電報（雜番號三四三九）中
D項左の通り訂正方通知あり御訂正願ふ

D 四六四五三四圓一錢

配布先 文、電、絡秘書、絡股庶、管、經

外務省

証帳簿

0034

電信寫

P4401

昭和三一 三五一九 平

七月四日一五〇〇發 絡股
本日一〇〇着 本省

曹田總裁

岩手縣内務部長

（警察無線經由）

（勞務月報に關する件）

勞務月報六月分

A 一四六〇名

B 一四五六名

C 一三七〇名

D 四六五七一四圓六八錢

外に前月分繰込み支拂額五四七二圓

五五七

配布先 文、電、絡秘書、絡股庶、管、經

（了）

外務省

証帳簿

0032

RH'-0021

0022

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

電信寫

P 440.1

昭和二十一 五五〇九 平 高松 七月五日一七〇五發 絡設
 本省 六月〇九五〇着 香川 縣

吉田 總 裁
 (勞務月報)

六月分勞務月報

A 五五七
 B 二五六
 C 二〇五
 D 一一三九四一圓

内前月よりの繰越支拂額五四二七五圓

E 該書なし

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

外務省

記帳簿

0033

電信寫

P 440.1

昭和二十一 五五一一 平 京都 七月五日一四〇〇發 絡設
 本省 六月〇九〇〇着 吉岡事務局長

吉田 總 裁
 第二一〇號

(六月分勞務月報に関する件)

六月分勞務月報左の通り

イ(A) 一四三三常備二(八九八
 計三八三〇

ロ、日備一四七七一常備二五八七、計二八六四一

ハ、日備一四〇二、常備一二三七、計二六三九

ニ、日備七二四二六九圓八〇錢、常備一七五八五四八圓四二錢
 計二四六二八一八圓二二錢

E、なし

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

外務省

記帳簿

0034

RH'-0021

0023

電信寫

P440.1

昭和二一 五五二〇 平 岐阜 七月五日 二五〇 着 絡設

設 營 部 長

(勞務月報)

六月分勞務月報(厚本、横領有地區を除く)左の通り

A 四六三八六

B 四五五九五

C 一六五三三

D 三四九七五 三四三三三 七五〇

E 無し

厚本、横領有を除く全県下の調査は進んで進捗ナ(了)

配布先 文、電、絡設各課、秘

外 務 省

電信寫

P440.1

昭和二一 三五二七 平 岐阜 七月五日 二五〇 着 絡設

設 營 部 長

(至急)

(勞務月報提出の件)

六月分勞務(月報)

A 日備 常備 一一四一名

B 日備 常備 一九七名

C 日備 常備 一一四四名

D 日備 常備 五八七八六 四四七 一九七名

E 該當なし 一〇四〇一 一五七

配布先 文、電、絡設各課、秘

(了)

外 務 省

電信寫

7440.1

昭和二一 三五二〇 平 公 江 七月五日〇九四〇 設 絡設
 本省 七月六日一六〇〇 着
 島根縣内務部長
 (警察無線經由)
 (勞務月報に關する件)
 勞務月報六月分
 A 五八六九人、B 四六七〇二人、C 一一四一人、D 支拂濟額二〇九一
 二〇一四圓支拂未濟額三〇四七三七〇圓、並なし
 右各項目に對する比率(米國陸軍、海軍邦車の順)
 A 二七%、九三%、九三%、B 三%、九七%、C 七%、九三%、D 支拂
 濟三%、九七%未濟七%、三%、並該當なし (了)
 配布先文、電、絡秘、絡設麻、營、經

外務省

記帳済

8837

電信寫

7440.1

昭和二一	三五三五	裕	札幌	七月六日一六〇〇	着	絡設
吉田	總裁		本省	七月六日一六〇〇	着	
第二〇九號(至念)						
(勞務月報に關する件)						
在電第二〇七號に關し						
軍政部勞務士官より札幌に含めある千歳分を一分割する様指示あり たりとD項(支拂資金總額)及E項(物資換算價格)に誤り發 見せるに付次の通り訂正報告する						
種別	A	B	C	D	E	
札幌	六六〇	六一一	八八八	六六六	八九〇	八四一
十歳	一一三	九〇三	九一六	一一〇	一一六	一一一
小樽	一〇一	八〇	一一	六六	一一〇	一一〇

記帳済

8838

外務省

電信寫

計	四九七八	四八六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
本信郵送寸	四九七八	四八六	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
配布先	文、電、秘書、庶務、経																			

(丁)

外務省

電信寫

昭和一一 三五三四 平 佐世保 七月六日〇八四五發 絡設
 吉田總裁 本 省 六日一五五〇着
 第一五二號 (至急)
 (勞務月報の件)
 貴電合第七二號に關し
 六月分左の通り
 A 八、四七六
 B 八、六一二
 C 八、一六九
 D 五、九八八、四六一圓
 E 五三、五六九、四二圓
 配布先 文、電、絡設各課、秘

P440.1

記帳済

0049

(了)

外務省

RH'-0021

0026

電信寫

P440.1

昭和廿一 三五四四 平 長野 七月六日一四二一發 絡設
本省 七日 九四〇着

終戰連絡中央事務局設管部長 長野縣知事

(勞務月報報告の件)

六月分勞務月報

- A 九八五、九
- B 九七七、二
- C 一〇九四
- D 四九七、三二五圓一七錢
- E 無し

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

記録済

8041

電信寫

P440.1

昭和二一 五五六〇 平 佐世保 七月六日一七五五發 絡設
本省 七日 一五二〇着

吉田 總 裁 三浦 事務局長

第一五七號(緊急)

(勞務月報)

貴電第一〇二號に關し

B、八、八八〇(往復第一五五號参照) 尙右報告は佐世保地區の

み(丁)

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

記録済

8042

外務省

RH'-0021

0027

電信寫

2440.1

昭和二一 三五四六 平 和歌山 七月六日一〇四〇發 絡設
吉田總裁 本省 七日〇九三〇着 佐藤 務局長

第五二號 (勞務月報報告の件)

六月分勞務月報左記の通り報告済
尙五月分は軍政部の希望に依り通譯等を除外したか此の月から
再ひ之を含めることになつたから念の爲申し添へる

- A 一五五二
 - B 一五五二
 - C 四二二
 - D 三四三、二七一圖二七錢
 - E 無し
- 配布先 文、電、秘、絡設各課

(了)

外務省

2848

電信寫

2440.1

昭和二一 三五八七 平 横濱 七月八日着 絡設
吉田總裁 本省 鈴木事務局長

第二三號 (郵送)

(勞務月報の件)

六月分勞務月報(厚木、横須賀地區を除く)左記の通り通報す

- A 四六、三八六
- B 四五、五九五
- C 一六、五五三
- D 四四、九七五、三四二圖七五錢
- E 無し

厚木、横須賀を含む全縣下の調査は追つて通報す (了)
配布先 文、電、絡秘、絡設の庶、營、經

外務省

2844

電信寫

2440.1

總 番 號	一 二 八 九 六
符 號	平
日 期	昭 和 廿 一 年 七 月 六 日 一 三 時 四 〇 分
主 管	格 段

佐世保專務局長

吉田 總裁

第一〇二號（至急）

（勞務月報六月分）

勞務月報B項大至急再電あり度

尙同報告には長崎縣の分を含み居るやも併せて御同電乞ふ

記録済

8845

電信寫

2440.1

昭和二一 三五七一 平 神戸 七月七日 一三時四十分 發 格段
 本省 八日 一〇時一五分 着

吉田 總裁

兵庫縣内務部長

至急

（勞務月報に關する件）

六月勞務月報

A 一三四三四人
 B 一三〇九八人
 C 一〇〇五二人
 D 七九三七〇三七圓
 E なし

配布先 文、電、絡秘、絡設、庶、營、經

（了）

外務省

記録済

8846

RH'-0021

0029

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

P4401

昭和二一 三七四一 平 本署 七月九日一八〇〇時 結 帳

官 田 總 長 廣 島 縣 教 育 長 官 殿

(警察無線機由)

(勞務月報の件)

「勞務供出状況月報六月分」

A 一四九七三名 B 一四一九七名 C 一〇四七九名 D 支拂済四七四
 六五二二名 E 八八名、未支拂四八四三四六〇圓七七錢計九五九五
 九八三圓六五錢五分

「Gは前日曜日付就労者数とし
 配布先 文、電、結帳、結設庶、管、經

外務省

8848

電信寫

P4401

昭和二一 三六二五 平 千葉 七月 八日一六二五時 結 帳

本省 十日〇六四〇着 千葉縣知事

設 管 部 長

(勞務月報報告の件)

勞務月報六月分

A 八二六
 B 八三二
 C 五〇五
 D 五一〇四〇三圓四〇錢
 E 四八七圓四〇錢

前月繰越し額あり

配布先 文、電、結帳、結設庶、管、經

(了)

外務省

8847

RH'-0021

0030

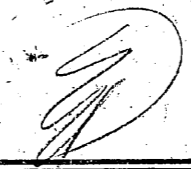
外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan



昭和二十一年七月九日

終戦連絡中央事務局 不出張所
局長 今井重夫

終戦連絡中央事務局次長殿

労働月報 印刷完了

本件は開し別紙の通り報告するに付
御査閲願ひ候

本館長 終戦連絡後 地方事務局長
神奈川 藤野芳雄 啓

電信案 一 啓 省

九月分労働月報

一 九月中新二種収せらるる印刷及び印刷局

(一) 印刷 十
(二) 印刷局

End Night Flight Group

二 三四五 九月分進駐軍向戦特別労働者
要員数並に出給数及び所持品類

電信案 一 外 務 省

(19) 常備勞務者

職 種	要員 人員	佐員 人員	支那 金額 (單位 冊)
Blasé Mann	七一	七一	三〇〇六
Carpenter	一〇三五	一〇三五	三〇九五六
Plumber	六一九	六一九	一八、八七二、八〇
Tracer	五二	五二	一、三四四、一
Interpreter	二二五六	二二五六	五、四七〇、一

外務省

(20) 常備勞務者

Cook	一九〇ナ	一九〇セ	六一、七二九、一
Baker	三九一	三九一	一四、〇〇〇、〇〇
Waiter	二一七〇	二一七〇	五八、九六八、一
Bar tender	〇二〇	〇二〇	一三、七〇〇、一
Honour Bail	五〇〇	五〇〇	七三、三一一、一
R. P.	四、〇三三	四、〇三三	八、七〇三、一
Amak	八六	八六	一、五九〇、一

外務省

Janitor	4/10	3/10	2000
House Keeper	3/10	2/10	1730
Foreman	9/10	9/10	2136
Book Keeper	3/10	3/10	630
Typewriter Repairman	3/7	3/7	1036
Telephone Repairman	1/7	1/7	531
Auto Mechanic	9/0	9/0	2180

電信案

外務省

Heavy laborer	2/0	2/0	1200
Technician	2/10	2/10	2010
Batter House	1/0	1/0	100
Barack Keeper	1/10	3/10	120
Superintendent	3/10	3/10	820
Photographer	3/10	3/10	700
Desk Clerk	6/0	6/0	1200

電信案

外務省

RH'-0021

0033

Manager	二〇二	二〇二	七、八〇〇
Accountant	三〇	三〇	八〇〇
Secretary	五九七	五九七	一七、九〇〇
Design	六〇	六〇	一、〇〇〇
Book Maker	一〇〇	一〇〇	二、二〇〇
Tailor	六〇	六〇	一、〇〇〇
Seamstress	七〇	七〇	一、〇〇〇

電信券

外務省

Laundry	九〇	九〇	一、七〇〇
Barber	三二二	三二二	七、〇九〇
Leather Man	三〇	三〇	八〇〇
Painter	二二六	二二六	五、八九〇
Artist	九〇	九〇	二、八〇〇
Dentist	九〇	九〇	二、〇〇〇
Doctor	六〇	六〇	二、〇〇〇

電信券

外務省

電信案			
Sanitary Inspector	二六	二六	九五六、一
Clerk	八三七	八三七	一九六二六、五〇
Boy	五二	五二	八四三、一
Typist	二一八	二一八	四六三、八、一
Electrician	五九五	五九五	一八六一九、五〇
Driver	一〇九五	一〇九五	三三、四、五、九〇
Mechanic	一〇九〇	一〇九〇	四三、九三〇、三〇
外務省			

電信案			
Travis Man	五七九	五七九	一三、六、八、一
Labourer	一一七四	一一七四	二七、三〇〇、三〇
Trimmer	一五九	一五九	四、一〇六、五〇
Boiler Man	一〇四七	一〇四七	二五、九七六、一〇
Ordering Boy	六〇	六〇	八六、一
合計	一九九四	一九九四	五、四一、七六七、九〇
外務省			

RH'-0021

0035

日 本 編 勞 務 者

職 種	要 求 人 員	現 在 人 員	支 拂 金 額 (單 位 千 圓)
Heavy Labour		一六、〇四二	四〇四、五七、七八
Light Labour		二七、〇六二	三〇一、六二、七一
Painter		二、三三九	一、六、二六、〇三二
Carpenter		四、一七〇	一三〇、六二、五、三三
Plumber		七、九四	三三、三、七〇、三三

外 務 省

Electrician		四、四四六	一、三六、三三、四、二〇
Driver		六、六九	一、六、〇八、七、五七
Blue Man		三、一	八、三〇、一
Mechanic		一、五七九	四、四、五七、六、四四
Fireman		一、九八九	二、九、八七、二、二二
Female Labourer		六、〇四一	九、二、一、二七、七一
Cook		一、二六九	二、七、九、九、四、六、五

外 務 省

K.P.		六八	一九六、九八
Painter		二七五	九、百三、八四
Tailor		四一	一、三五、二八五
Boiler Man		一四四	一三、五八、二八〇
Bandmen		三九	一、二六、七二
Boys		一一	一九三、五〇
合計	七三、九七	六七〇、三三	四九一、五九五、二九五

電信案

外務省

電信案

一 常備労働者ノ要求數ハ明示セザル故
 實際ニ供給セシ人員數トシ

二 日傭労働者ノ要求人員ハ員數ノミ一括
 要求ニ乗タルヲ以テテ職別統計不明ト

三 日傭労働者ニ供給人員並ニ貸銀支拂額ハ
 前月ニ屬スベキモノニシテ支拂滞延ノ
 為当月ニ屬スルモノトシテ

外務省

急時要ト根本対策ニ方テ外報ニ
 一應急対策
 (1) 労務者賃金収入ノ増加
 賃金ノ融通、儲蓄ニ他ノ労務者ニ比シ低賃金者
 有利トシテ予ニ転入スル者ニ依テ之ヲ防止ス。若シ
 収入ノ増加ヲ企圖シ交通費補助ノ名目ニヨリ
 均ニ同額トシテ増給シ、賃金トシテ
 (2) 労務者ノ勞務補助
 労務者ノ勞務補助ニ
 労務者ノ勞務補助ニ
 労務者ノ勞務補助ニ

公 信 案 一

外 務 省

労務者ノ賃金収入ノ増加
 賃金ノ融通、儲蓄ニ他ノ労務者ニ比シ低賃金者
 有利トシテ予ニ転入スル者ニ依テ之ヲ防止ス。若シ
 収入ノ増加ヲ企圖シ交通費補助ノ名目ニヨリ
 均ニ同額トシテ増給シ、賃金トシテ
 (2) 労務者ノ勞務補助
 労務者ノ勞務補助ニ
 労務者ノ勞務補助ニ
 労務者ノ勞務補助ニ

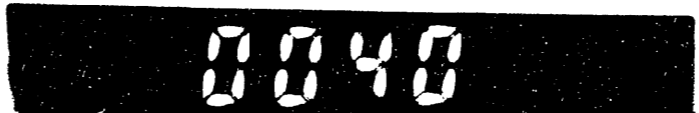
公 信 案 一

外 務 省

④
 通野原方面警備、
 自覚、指導的
 活動者、
 金生信、
 起る、
 目的、

署長久木和由備、
 努力により、
 代行餅ヲ
 取捨リ行ヒツラリ
 二、根本対策
 井田連、
 原因スレド、
 任々シテ、
 警備、
 書ハ、
 公 信 案
 外 務 省

八、其ノ月ニ於テ、
 通牒、
 主事行事
 努力、
 六月二十日、
 警備、
 間ニ、
 干渉、
 警備、
 只、
 電 信 案
 外 務 省



電信案

外務省

行部スハキ百内諾ヲ受ノリ、事務業者ノ手紙料
一割立有リニ方内且三方ニ引下ガレテ適宜トスト
トモナリ

電信案

外務省

本職場ノ小半位ニ命別ニ係存ナルヲ
アアマニニ責任ヲ持シ且一職場ヲテハ
第一業者ヨリ年々シムルコト
無償ニ支拂方也
近來ノヤキ日海労働者ニ対スル貸銀ハ業者代元
カニテ支拂ラレタリ、Double Payノ疑ハナク
從來ノ月三回支拂ヲ二回トナシ各個人別ニ支拂
ヲナスコト、未練ハ、民衆的且業者ノ中間搾取
排除、労働者ノ忠告防止ニシテ以テ高難ヲ
排ニテ実行スルヤコト、コト為ニハ、(財)會社係
ヲ進駐申込者ニテ、職員ヲナスコト、(財)會社係
モ幹旋スルコト、(財)支拂証明書ノ迅速發給ハ各
邦成ニ留意スルコト、等ヲ以テ、(財)會社係ニ留意セリ
以テ、(財)會社係ノ上先方ノ意思ニ副フ様

推 推 推

RH'-0021

0041

電 信 案

外 務 省

九、其他

代用餅、取給

其地勢者、獲得、一箱トシテ、
 手申、代用餅、一箱、七、十、個、ヲ、確、保、シ、
 六月、十、日、ヨリ、二、回、別、毎、日、一、個、一、月、ニ、
 給、付、有、限、取、給、ヲ、十、セ、リ、

進駐軍 P.U. 勤労協會設立趣意書

進駐軍へ勢状供出ハ、ボツム宣言實施、爲ニスル日本政府、重大ナル義務ヲテスガ
 進駐ニシテ、其勢状者、作業者能率者シテ、感下シ、勞務者、收メ、新減シテ、進駐軍側ノ
 満足セシメ、得ナイ、状態ニアリマス、テ、採テ、コトニ、タラ、原因、六、付、銀、物、價、高、騰、シ、
 滑、食、料、不、足、・農、工、業、其、有、利、ノ、分、派、ハ、轉、出、者、増、加、シ、生、活、不、安、定、收、入、減、少、心、理、的、苦、悶、
 等、各、種、之、復、雜、ト、事、情、錯、綜、シ、ソ、ノ、解決、ハ、非、常、ニ、困難、デ、ス、カ、ド、ウ、シ、テ、モ、解決、シ、ナ、レ、バ、ナ、ラ、
 問題、デ、ス、思、状、メ、ツ、ナ、能、力、低、下、ハ、進駐軍側、對、シ、日本、人、勞、務、者、ノ、格、外、的、勵、能、力、ニ、
 之、念、ヲ、興、シ、若、イ、ハ、國家、信用、ニ、及、波、及、ス、ル、虞、レ、ダ、ラ、バ、除、本、協、會、深、的、ニ、進、駐、
 軍、ヲ、打、破、ス、ル、對、策、必、要、ヲ、痛、感、シ、ス、若、ク、テ、見、ル、レ、バ、問題、ノ、核、心、ハ、精神、的、十、問題、ト、
 不、足、ニ、基、因、ス、ル、ト、思、ハ、シ、マ、ス、テ、強、化、ス、ル、訓、練、ヨ、リ、テ、精神、的、虛、脱、状、能、否、取、却、ヲ、因、リ、食、生、活、
 根、本、的、是、正、ヲ、斷、行、シ、テ、勞、務、者、之、食、料、製造、上、完、全、消、化、訓、練、ヲ、徹底、シ、以、テ、勞、務、者、之、安、心、
 信、賴、ヲ、獲得、シ、テ、コ、ノ、問題、對、シ、永、遠、不、定、策、ヲ、講、シ、若、ク、イ、ハ、新、日、本、建、設、機、石、ト、ナル、
 不、可、分、割、者、ヲ、育、成、ス、ル、ト、刻、下、之、志、ヲ、思、ヒ、マ、ス、

本、會、ハ、コ、ノ、問題、ヲ、適、宜、解決、ス、ル、爲、ニ、設置、シ、タ、シ、テ、各、位、御、鞭、末、下、御、援助、ヲ、御、願、シ、マ、ス、

昭和二十一年六月七日

世話人一同

進駐軍以勤労協會，概要

日僱動労署，外郡団体
RU原理ニ基キ，育成ニヨリ進駐軍勤務者，
増率増進

本部 東京都並五區西小山町五
支那 進駐軍所在地(每次檢査厚木地区)
役員 会長一名，副会長一名，理事
若干名，監事一名(会員，互選)
當分向古野人が代行

三カイン
進駐軍勤務者 本会関係者
四ツゴト
1. 労務 労務執行部，手帳，及び進駐軍人
華十水(本名)十ツツツ
華十水(本名)十ツツツ
2. 育成 大倉山文化科学研究所ニ於テ
眞生活必要ナル基礎訓練
(二日乃至十日間)
大和勤労ホムニ於テ，登回ハ
進駐軍勤務ニ従テ，日曜，雨天
夜間，學術技藝ノ訓練
RU柴藁食，製造供給
勤労ホムノ経営
RU食生活，勤労等
RU指導原理 時事問題進駐軍
勤務事情，柴藁基礎学等
五経費 會費，寄附金，助成金，事業基金

177

送付済

6849

厚達普第一七八号

昭和二十一年七月九日

終戦連絡中央事務局 厚木出張所

所長 今井重夫

終戦連絡中央事務局次長殿

労務月報送附の件

本件に關シ別添の通り六月分送附するに付き
御査閲願ひたい。

本信寫送附先

終戦連絡横浜地方事務局長
神奈川縣勤労課長

外務省

0051

Interpreter	二二五六	二二五六	六〇、四七〇	〇〇
Cook	一九〇七	一九〇七	六、七二九	〇〇
Baker	三九一	三九一	一四、〇八〇	五〇
Walter	二、一七〇	二、一七〇	五、八九六八	〇〇
Bar-tender	四二〇	四二〇	一、二七四〇	〇〇
House-girl	四〇	四〇	七、〇〇〇	〇〇
K.P.	四五三	四五三	八、七〇三	〇〇
Amah	八六	八六	一、五九〇	〇〇
Janitor	三〇	三〇	四、〇〇〇	〇〇
House Keeper	三〇〇	三〇〇	一、六三〇	〇〇
Typewriter Repairman	九四	九四	二、三六	〇〇
Book Keeper	三〇	三〇	六、二〇〇	〇〇
Typewriter	三二	三二	一、〇二六	〇〇

外務省

職種	要求人員	供給延人員	支拂金額(單位)	
Class Man	七一	七一	三、〇〇六	五〇
Carpenter	一〇三五	一〇三五	三〇、九五六	五〇
Plumber	六一九	六一九	一八、八七二	八〇
Tracer	五二	五二	一、三四四	〇〇

外務省

六ト分号務日報
 六ト中ニ新ニ接收セラレタル建物及進駐部隊
 (一) 建物 十
 (二) 進駐部隊
 The Capital Support Group
 二三四五 六ト分号進駐軍向職種別号務者
 要求数並ニ供給数及支拂給與額
 (1) 常備号務者

0050

RH'-0021

Tailor	六〇七四	六〇七四	一四六〇	〇〇
Seamstress	九〇七〇	九〇七〇	一〇〇〇	〇〇
Laundry	三二七	三二七	七〇九六	〇〇
Barber	三〇〇	三〇〇	八〇〇〇	〇〇
Leather Man	二二六	二二六	八八九	〇〇
Painter	九九〇	九九〇	八四〇	〇〇
Artist	九〇〇	九〇〇	四四〇	〇〇
Dentist	六〇〇	六〇〇	二〇〇〇	〇〇
Doctor	二六〇	二六〇	九五六	〇〇
Sanitary Fatigue	三六	三六	六二六	五〇
Clerk	三三	三三	八四三	〇〇
Office Boy	五二	五二	六三六	〇〇
Typist	二一八	二一八	六三六	〇〇

外務省

0050

Telephone Repairman	九〇九	九〇九	五三一	〇〇
Auto-mechanic	九九〇	九九〇	二二八	〇〇
Heavy Laborer	二〇〇	二〇〇	一五〇〇	〇〇
Technician	三〇〇	三〇〇	八七〇	〇〇
Barrack Keeper	三〇〇	三〇〇	二二〇	〇〇
Superintendent	三〇〇	三〇〇	二二〇	〇〇
Photographer	六〇〇	六〇〇	二〇〇	〇〇
Desk Hand	二四〇	二四〇	八四四	〇〇
Manager	三〇〇	三〇〇	一七九	〇〇
Accountant	五九七	五九七	九五二	〇〇
Secretary	六〇〇	六〇〇	一四八	〇〇
Designer	一五〇	一五〇	二二五	〇〇
Dress Maker				〇〇

外務省

0052

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

0045

Electrician	五九五	五九五	一八、六一九	五〇
Driver	一、〇九五	一、〇九五	三三、四七〇	四〇
Mechanic	一、四四〇	一、四四〇	四三、九三〇	三〇
Fire Man	五七九	五七九	一三、六八〇	〇〇
Light Laborer	一、二七四	一、二七四	二七、三四〇	三〇
Timmer	一五九	一五九	四、一〇八	五〇
Boiler Man	一、〇四七	一、〇四七	二五、九七六	一〇
Ordery Boy	六〇	六〇	八六〇	〇〇
合計	一九九四	一九九四	五四、七六七	九〇

6854

外務省

職種	要員	供給人員	支拂金額(單位)	円
Heavy Laborer		一六、〇四二	四〇、四五四	八八
Light Laborer		二七、〇六二	五〇、一六五	七一
Navy		二、三三九	五六、二六五	三五
Carpenter		四、一七四	一三、〇六一	三五
Plumber		七九四	二三、三七〇	三八
Electrician		四、四四六	一三、六三三	二〇
Driver		六六九	一六、〇八七	五七
Glass Man		三一	八三〇	〇〇
Mechanic		一、五七九	四四、五七六	四四
Foreman		一、九八九	二九、八七二	三二
Female Laborer		六、〇四一	九二、一七二	七一

6855

外務省

Cook		一、二六九	二七、九九四
K.P.		六八	一、九六〇
Painter		二、二五	九、一〇三
Tailor		四一	一、三五二
Boiler Man		一、四四	一、三八二
Gardener		三九	一、一六二
Boy		一一	一九三
合計	七、三九七	六七、〇三三	一、四九一、五九五

註一 常備勞務者ノ要求數ハ明示セザル故實際ニ供給セシ人員數トナル

註二 日傭勞務者ノ要求人員ハ員數ノミニ格要未シ
未タルヲ以テ職種別統計ヲ明ナリ

外務省

8856

註三 日傭勞務者供給人員並ニ償額支拂額ハ
前月ニ屬スベキモノニテ支拂遲延ノ爲
當申ニ繰入レタルモノヲ含ム。

六、無償支給物資品名員數等 ナシ

七、勤勞管理及勞働運動
六月中ニ於ケル各地ニ進駐軍関係勞務者ハ作業
能力ノ低下ト勞務者數ノ減少ヨリ憂慮スベキ状態ト
ナリ特ニ六月初旬今井所長ハ司令官ヨリ此ノ点ヲ
指摘セラレ政府機關トシテ萬難ヲ排シ何等カ対策ヲ
實施サレ度キ旨要望セラレタガ、ニハ困難ニ償取ト
物價ノ不均衡配給ノ不円滑食糧ノ不安定

外務省

8857

RH'-0021

0047

農工業勞務等、有利ナル方面へ転出者増加、敗戦心理的影響等各種複雑ナル事情繰繰シテ、簡單ニ解決シ得サル之爲所トシテ之面目上之解決ニ全カテ盡クストニ決シ取敢ハズ之ヲ應急対策ト根本対策ニ分テ積極的ニ策リ出スト

一、應急対策

- (イ) 勞務者實収入ノ増加——現行ノウエゲスケールニテ一般勞務者ニ比シ低賃額トナル爲、他、有利ナル仕事ニ転向スルモノガ多ク依テ之ガ停止ノ爲、實収入ノ増加ヲ企図シ、C、O、了解ヲ得テ交通費、補助、名目ニ依リ、日平均金、米、程度ノ増給ヲ實施スル事
- (ロ) 勞務者ノ募集、督勵——厚木、日備、勤勞者ト協力六業者及各地村長ニ協力ヲ求ムルニシテ技能工

外務省

8858

八平塚、小田原、相模原、藤澤、戸塚、松田等、各勤勞者ノ應援ヲ未ノカ老是ヲ計ル

(ハ) 勞務者用衣食料ノ配給——勞務者誘引策トシテ、逓駐軍勞務者用衣食料ノ配給ヲテ、神奈川縣當局ニ懇請シ加配米一部、ビール、地下足袋、石鹼、罐詰等ノ配給ヲ受クル事トナリタルガ、エ、外大和警察署長ノ努力ニ依リ、代用餅ヲ獲得シ加配給ヲ行ヒンアリ

二、根本対策

逓駐軍勞務者ノ能率ハ二分以下ニ在リトイフ此ノ窮極ニシテトシテ食糧ノ不足ト精神的弛緩ニ原因スル点ニ着眼シ五月中旬ヨリ囑託一者ヲ專任セシメテ之ガ實現指導ニ努カシムルガ

外務省

8858

RH'-0021

0048

關係官廳業者等ノ了解ヲ得進駐軍勞務者ノ
自覚指導的勞務者養成會生活ノ規正ヲ
目的トシテ別紙設立趣意書及概要ノ如キ計畫ヲ
以下能率増進勞務狀態ノ改善ヲ計ラントスルモノニ
テ、目下着手進中ナリ

八、其ノトニ於テ提出セル進牒爲、主要行予。

進牒 ナリ

主要行予

勞務會議

六トニテ五日及金ニテ九日夜所長官會ニ於テ基礎
勞務官「メド」少尉ト今井所長、夏田連絡官トノ
間ニ勞務対策協議ヲ爲ス、主ナル点トナリ

外務省

0001

(イ) 勞務者不足ニ對スル対策

勞務者移出ノ爲輸送方法ニ付テハ聯合軍側ニ於テ
極力援助ヲナスベシ

(ロ) 能率増進ノ対策

各職場ヲ小單位ニ分割シ優秀ナル「アマン」ニ
責任ヲ持タセ且一職場ヲナルベテ單一業者ヨリ
出サレルコト。

(ハ) 賃銀支拂ニシテ

從來ノ如キ日傭勞務者ニ對スル賃銀ハ業者代表宛
ニ搭支拂ヲナセルガ Double Dayノ疑アルニ付從來ノ
月三回支拂ヲ二回トナシ各個人別ニ支拂ヲナスヲ
本件ハ及之的且業者ノ中向採取排除、勞務者ノ
惡徳防止ニアルヲ以テ萬難ヲ排シテ実行スベキコト。

外務省

0000

RH'-0021

0049

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

此ノ為ニハ(1)会計係ヲ進駐軍經費ニ増員ヲナスベシ
 (2)支拂場所ノ斡施スベシ (3)支拂証明書ノ迅速
 発給ハ各部隊ニ嚴達スベシ 等ヲ述ベテ強硬ニ
 主張セリ 依リテCノト協議ノ上先予ノ意思ニ
 副ノ称行動スルハ日内諾ヲ与ヘタリ
 尚業者ノ手数料一割五分ヲ二合内至三合引下
 グルヲ適者トストノ意見ナリ
 九其ノ地
 代用餅ノ配給
 基地労務者ノ獲得ノ策トシテ代用餅志萬七千個
 ヲ確保シ六月十四日より二週間毎日一個全志亦ニテ
 有償配給ヲナセリ

外務省

進駐軍P.M.勤勞協會設立趣意書

進駐軍ノ勤勞供給ハP.M.宣言ニ宣明シテ為ニスル日本政府ノ重大ナル義務ナリ
 此時ニテ勤勞供給者ノ作業能率ヲ高メテ之ヲ勞務者ノ故ニ新設シテ進駐軍側ノ
 満足セシメ得ルニ於テハ其ノ第一ノ原因ニハ賃銀ノ増大ノ功績ノ配給ノ所
 賃金ノ不足・農業工業ノ利益ノ減少・解決ノ非常ニ困難ニシテモ解決シテハナラズ
 等各種ノ複雑ノ事情が錯綜シテノ解決ノ非常ニ困難ニシテモ解決シテハナラズ
 問題ノ現狀ノメシナ能力ノ不足ニ進駐軍側ニ對シテ日本人勞務者ノ人格ノ勞働能力ニ信
 念ヲ與ヘ若シテ國家信用ニ害及スルモラガマルコトヲ除キ本協會深ク之ニ至急ニ難
 事ヲ打破スル對策ニ必要ヲ痛感シテ是レヲ見ルニP.M.問題ノ核心ニ精神前ノ問題トシテ
 不足ニ原因スル上思ハレズニ組織ナル訓練ヨリテ精神前ノ虚脱状態ヲ脱却シテ食生活
 根本的ニ是レヲ漸行ニ改善シ製造トシテ全消化訓練ヲ徹底シテ以テ勞務者ノ中心ト
 信頼ヲ獲得シテP.M.問題ノ解決ヲ決定シ若シテ日本建設礎石トナルベシ獲
 得シテ勞務者ヲ育成スルコトヲ急務ト思ヒマス

昭和二十一年六月七日 世話人一同

0062

0062

進駐軍労協会の概要

日僱動労署の外郭団体

RU原理ニ基キ有成言リ進駐軍労務者ノ

能率増進

本部 東京都港区三田小山町五

支部 進駐軍所在地(第1次艦隊厚木地区)

役員 会長一名、副会長一名、理事若干名、監事一名(会長ノ選)

當分向 吉野ノ代行

進駐軍労務者 本会関係者

三カイン

四ノゴト

1. ~~進駐軍労務者ノ概要~~ ~~進駐軍労務者ノ概要~~

2. 育成 大倉山文化科学研究所ニ於テ
眞生活必要ニ基礎ヲ訓練
(二日乃至十日間)

大和勤労ホムニ於テ昼間八
進駐軍労務ニ收テ日曜雨天
校回ハ字術技能ヲ訓練
RU栄養餐、製造供給
勤労ホムノ経営
RU食生活、勤労等
RU指導原理 時習問題 進駐軍
労務事情、英語、基礎字等
文化、経済、政治、法律、生理、心理
等)

五 総務 會費、寄附金、助成金、事業基金

秘

電信寫

P 880

山梨、長野、千葉 廣島、大分、長崎 鹿兒島各縣知事 至急	(勞務月報(六月份)) 六月份勞務月報未到着ニ付至急電報願ヒ度シ、尙既に御報告済ニ 向も念ノ爲再電請ス	吉 田 總 裁	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"> 總 番 號 一三一三三 </td> <td style="width: 20%;"> 符 號 平 </td> <td style="width: 60%;"> 昭和二十一年七月九日十六時五十分 結 設 </td> </tr> </table>	總 番 號 一三一三三	符 號 平	昭和二十一年七月九日十六時五十分 結 設
總 番 號 一三一三三	符 號 平	昭和二十一年七月九日十六時五十分 結 設				

電信寫

24401

昭和二十一 三六七三 平 甲府 七月十日 一〇二八分發 絡設
 本省 七月十日 一〇二八分發
 山梨縣知事

設 管 部 長

(警備無線機由)

(勞務月報に關する件)

一月間に聯合軍より要求ありたる勞務者の一日平均數二九八名
 (總數八九五一名)

一月間聯合軍に供出せる勞務者の一日平均數二五九名(總數
 七七八〇名)

一月末日に於て就勞したる勞務者數二四六名

一月間に支拂ひたる勞務者の賃銀總額一四二八八四圓

一月間に勞務者に供與せし物品の見積り價額地下足袋有價三二
 〇足、四七三六圓技能者に配給

高粱粉有價四四袋一七六〇圓就勞勞務者全員に配給 (丁)

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

外務省

記帳

6666

電信寫

24401

昭和廿一 三六四四 平 長野 七月一日 一八〇分發 管設
 本省 七月一日 一八〇分發
 長野縣

終連設營部長

(勞務月報に關する件)

六月分勞務月報は七月六日打電済なるも再電す

A 九八五、九

B 九七七、二

C 一〇九四

D 四九七、三二五圓一七錢

E なし

配布先 文、會、電、絡秘書、絡設庶、營、經

外務省

記帳

6667

RH'-0021

0052

電信寫

P.440.1

外務省

昭和21 三六九三 平 奈良 七月十一日一七九發 絡設
 本省 十二月一〇三〇着
 吉田 總裁 奈良縣知事
 至急

(勞務月報報告の件)

七月十一日附照會の五月分勞務月報報告は裏に報告の如く特殊
 勞務者の要求多き爲も五月分一ニ九三八四五圓二八四月分報告後
 に支出せる一一四九一九圓が含まんで居る

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(了)

電信寫

P.440.1

秘

號 番 機
 一三二四七
 昭 和 廿 一 年 七 月 一 〇 日 六 時 〇 分 發 行
 記帳済

奈良終戦連絡出張所

終戦連絡大要

(第一七號) (大至急)

(勞務月報(五月分))

奈良縣勞務月報五月分に關しては七月二日附書電を以つて一應御
 説明ありたるも五月分D項は四月及び六月の支出額の約二倍にも
 上り特殊勞務者数の増減のみにてはかかる高額の差が生ずるとも
 考へられず總司令部上りの要求もあり此の點再度御取調への上折
 返へし大至急電を以つて御報告相成度
 尙本件に關しては先日東京せる新事務官に係官より説明済なり

0065

0068

電信寫

P440.1

昭和三一 三七九七 平 鹿兒島 七月十一日〇九五〇發 絡設
本省 十四日一九一五着
鹿兒島縣內務部長

(至急、警察無難經由)

(勞務月報提出の件)

- 一。二八。一名
- 二。二四八名
- 三。四六名
- 四。五九。三。二九九。圓
- 五。三〇。〇。圓

配布先 文、電、絡秘書、絡股庶、管、經

(了)

記帳済

6676

外務省

電信寫

P440.1

昭和三一 三七四二 平 秋田 七月十二日八二〇〇發 絡設
本省 十五日一二二〇着
秋田縣勞務課長

吉田 總 裁

(警察無難經由) 添書

(勞務月報提出の件)

進駐軍月報六月分五〇八、五人に訂正せられたし

本館宛先、絡通中央事務局、絡通仙台事務局長

配布先 文、電、絡秘書、絡股庶、管、經

記帳済

6674

外務省

RH'-0021

0054

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

電信寫

2000/

昭和二一 三八三九

平 廣島 七月十二日 一五三〇發 本省 十五日 一五三〇着 絡設

吉田 總裁

廣島縣教育民政部長

(警察無線經由)

尾

(勞務月報提出方に關する件)

既に報告済の五月分勞務供出月報中Dのみ支拂額四八六一九九三圓九八錢を現實に支拂ひたる結果四八八〇一七圓五七錢となり二六〇二三圓五九錢の増額となりたる爲合計に於て九九三八九九七圓六一錢は九九六五〇二一圓二〇錢となりたるに付報告す

(了)

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

外務省

帳齊

0072

電信寫

2000/

昭和二一 三八三六

平 廣島 七月十二日 一五三〇發 本省 十五日 一五三〇着 絡設

吉田 總裁

廣島縣教育民政部長

(警察無線經由)

(勞務月報提出方の件)

勞務供出状況月報六月分

A 一四九七三名 B 一四一九七名 C 一〇四七九名

D 支拂濟四七四六五二三圓八八錢 未支拂四八四九四六〇

圓七七錢 計九五九五九八三圓六五錢 尾なし

Gは當日日曜日に付就勞者僅少なり

本件は七月九日既に報告済なり

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

外務省

帳齊

0072

RH'-0021

0055

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

P4.4.0.1

昭和二一 三八三七 平 長崎七月十二日 九二五發
本省 十五日一六〇八着 絡設
設管部長
長崎縣內務部長
(警察無線經由)

(勞務月報提出方の件)

五月分勞務月報

A 一 二 一 六 三 B 一 二 八 一 七 C 一 一 三 九 七

D 七 二 五 〇 九 一 六 圓 九 一 錢 E 四 八 二 二 五 圓 六 七 錢

六月分勞務月報

A 一 〇 六 〇 五 B 一 〇 九 七 三 C 一 一 二 二 二

D 七 四 六 二 五 一 圓 九 二 錢

E 五 四 八 六 九 圓 四 二 錢

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

帳齊

8874

電信寫

P4.4.0.1

昭和廿一 三八〇六 平 長崎五月多 七月十四日一六〇八發 絡設
本省 十五日一六〇八着
設管部長
長崎縣知事
(勞務月報提出の件)

五月分勞務月報

A 一 二 一 六 三 B 一 二 八 一 七 C 一 一 三 九 七 D 七 二 五 〇 九 一 六

圓 九 一 錢 E 四 八 二 二 五 圓 六 七 錢 着

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

帳齊

8875

電信寫

74.4.0.1

昭和二一 五八一 一平 佐世保 七月十五日 一七五五 發 絡設
 本省 十六日 四八四〇 着

吉田 總裁
 第一五七號 (至急)
 (六月分勞務月報の件)
 貴電第一〇二號に關し
 B、八、八八〇 (往信第一五三號参照)
 尙右報告は佐世保地區のみ

配布先 文、電、秘書、絡設庶、營、經

(了)

外務省

電信寫

74.4.0.1

昭和二一 三七九九 平 長崎 七月十四日十七時五十分發 絡設
 本省 十五日十四時二十分着

設 營 部 長
 (勞務月報の件)

六月分勞務月報

A 一〇六〇五
 B 一〇九七三
 C 一一二二二
 D 七四二六二五一圓九二錢
 E 五四八六九圓四二錢

六月分勞務月報
 A 一〇六〇五
 B 一〇九七三
 C 一一二二二
 D 七四二六二五一圓九二錢
 E 五四八六九圓四二錢

本信配付先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

託振齊

0073

0078

電信寫

24401

昭和二一	三八六六	平	鹿兒島	七月十六日一八〇〇發	特設
六月分勞務月報			本	十七日一八〇〇發	
一、二、八一名					
一、二、四八名					
一、二、四六名					
一、五、三〇〇名					
以上は報告済					
鹿兒島、文、電、給、給、給、給、給、給					

（了）

外務省

電信寫

24401

秘

鹿兒島縣知事	吉田 總裁
(大至急)	
(勞務月報、六月分)	
七月九日附電報を以て六月分勞務月報至急御報告方御依頼せるも未だ受領せず總司令部より再三の督促もあり折返し大至急電を以て御報告願ひ度し	
尙萬一御報告済の分も念の爲再電請上	

總 番 號 一三六一四
 符 號 平
 昭和廿一年七月十五日一三時二〇分
 主 管 路 設

6078

帳簿

記帳済

6078

RH'-0021

0058

電信寫

P440.1

昭和二一 四〇〇〇 平 山梨 七月二十日十一時十五分發 絡設
本省 二十一日 八時十四分着

設 營 部 長 山梨縣知事

(警察無線經由)

(勞務月報提出方の件)

七月二日附貴發第二六二號及七月十日第二三二號(一〇一〇五

五)無電を以て要求せる六月分月報再報す

一ヶ月間に聯合軍より要求ありたる勞務者一日平均數二九八名

一ヶ月間に聯合軍に供出せし勞務者一日平均數

一ヶ月末日に於て就勞せる勞務者數二四六名

一ヶ月間に支拂ひたる勞務者賃金總額一四二、八八四(圓)

一ヶ月間勞務者に無償にて供與せし物品見積り額なし

本信配付先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(丁)

外 務 省

電信寫

P440.1

昭和二一 四一二四 平 大分 七月二十五日一三二〇發 絡設
本省 二十六日〇六一〇着

書 田 總 裁

大分縣知事

(六月分勞務月報再電)

六月分勞務月報

A、一五六名

B、一五二名

C、一二七六

D、六六一五七四圓六七錢

E、無し

右再電す

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(丁)

外 務 省

電信寫

P 4.4.0.1

昭和二一 四三〇三 平 字都宮 七月三十一日 一〇〇〇 着 絡設

設 營 部 長 栃木縣内務部長

(警察無線經由)

(勞務月報報告)

勞務月報七月分

イ、九、八

ハ、九、八

ニ、七、七

ホ、四、一、五、二、六、圓二十錢

ヘ、なし

配布先 文、電、秘書、絡設庶、營、經

外務省

H 3.1.0.1

七月二十五日香川縣知事發設管部勞務課長あて電報(勞務月報)

中D項左の通り電信局から訂正して來たので右御通知する。

記

D 〇七七六三五円五七錢

訂

正

報

主

管

絡

設

記帳不要

(配布先 文、電、絡設部長、絡秘書、絡総総、絡設総、業、
経、勞)

0083

0082

RH'-0021

0060

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

P 4.4.0.1

昭和二一 四三四二 平 福島 八月一日一八〇〇 發 絡設
本省 一日一八〇〇 着 福島縣知事

吉田 總裁

進駐軍關係七月分勞務月報

- 一、一〇五
- ロ、一四〇
- ハ、一八三名
- ニ、五八六九九四六八錢
- ホ、なし

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

記録済

6885

電信寫

P 4.4.0.1

昭和二一 四三一 平 三重縣廳内 八月一日二二五發絡設
本省 二日〇九三〇着 三重縣知事

設 營 部 長

(勞務月報提出の件)

進駐軍關係勞務月報通報の件に關し
費用第七月分月報左記の通り通報す

- A、六一名
 - B、五九名
 - C、七一名
 - D、三九四九二圓七六錢
 - E、該當なし
- 配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

記録済

記録済

6885

電信寫

p44.0.1

昭和二一 四三三五 奉 松山 八月一日 一〇〇〇 絡設
 本省 八月二日 一〇〇〇〇
 青田 總 裁
 (勞務月報の件)
 七月勞務月報
 二の〇 一八三
 四のA 組合結成数二〇 B ストライヤニ
 七項 八六、〇六
 八項 八六、二六
 九項 一八三
 〇の計 五四六二二圓八〇號
 配布先 文、電、秘書、庶、管、經

愛媛縣知事



(了)

外務省

記帳簿

0087

電信寫

p44.0.1

昭和二一 四三三五 奉 松山 八月一日 一〇〇〇 絡設
 本省 八月二日 一〇〇〇〇
 設 務 部 長
 (勞務月報)
 勞務月報七月份
 A 七二
 B 七一
 C 七五
 D 三九〇〇〇圓五〇錢
 日本
 繰越なし
 配布先 文、電、秘書、絡設、管、經

(了)

外務省

記帳簿

0086

RH'-0021

0062

電信寫

74401

昭和二一 四五一二 平 佐賀 八月一日 九時發 絡設
本省 六日 一時着 佐賀縣知事
吉田 總裁
(書翰無電)

(勞務月報に關する件)
勞務月報七月分A、八四八B、八四〇C、九九九、D四七九九
七圓二五錢前月分七四九九四圓二五錢本月分五七三四九五圓四五
錢、日本し
配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

外務省

不審

0088

電信寫

74401

昭和二一 四三五〇 平 岡山 八月二日 一時發 絡設
本省 三日 一時着
吉田 總裁
岡山縣教育民生部長

(勞務月報提出の件)
七月分勞務供出及賃銀支拂狀況
A 四一五〇名
B 三八三七名
C 四五五五名
D 二三二四、四五七圓〇五錢
日本し

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

外務省

記帳済

0088

RH'-0021

0063

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

電信寫

P4401

昭和二一 四三五五 平 富山 八月二日 八四九發 絡設
 本省 二日 一〇 着

次 長
 (勞務月報の件)

勞務月報七月分
 A 一五、六名
 B 一五、六名
 C 五、六名
 D 八一六九圓

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

記帳済

外務省

0000

電信寫

P4401

昭和二一 四三七六 平 高知 八月二日 一七五六發 絡設
 本省 三日 一五 着

(至急)

(勞務月報)

七月分勞務月報
 A、一二七三
 B、一一八七
 C、一二二四
 D、一四五〇 二五七圓七九錢

内前月繰越 一三六一〇圓一五錢を合算

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

不送記

外務省

0001

RH'-0021

0064

電信寫

2440.1

昭和二一 四三七八 平 長崎 八月二日 一三二五發 絡設
 本省 三月一 号 五 着

設 管 部 長 長 崎 縣

(勞務月報)

七月分勞務月報

初九二五七

初九二三五

初九六九八

初六二四八 二四三三 一六〇

初四五六 二四

配布先 文、電、絡祕、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

0082

電信寫

2440.1

昭和二一 四三五八 平 愛知 八月二日 一三二〇發 絡設
 本省 八月三日 一〇 着

終 戦 次 長 愛知縣知事

(勞務月報の件)

占領軍供出勞務者月報七月分

A 二、二六九 B 三、二六九 C 三、三〇〇 D 一三九六、二

五八、二四 E 次

配布先 文、電、絡祕、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

0093

RH'-0021

0065

電信寫

P4401

昭和二一 四三六二 平 前橋 八月二日 一四〇發 絡股
本省 八月三日 一四〇發
曹田 總裁 群馬縣内務部長

(七月分勞務月報の件)

七月勞務月報

A 三一一七

B 二二一七

C 二二四四

D 一二二九、九六七圓四七錢

(内前月分繰越拂一八六、九二一圓五五錢)

E なし

配布先 文、電、絡秘、絡股庶、管、經

(丁)

外務省

記帳済

0094

電信寫

P4401

昭和二一 四三六六 平 熊本 八月二日 一四〇發 絡股
本省 五日 一四〇發
八木事務局長

設管部長

第一三一號(至念)

(勞務月報の件)

七月分勞務月報

A 一、二八七

B 一、二八五

C 一、四七五

D 七八一、五六九圓七〇錢

E なし

配布先 文、電、絡秘、絡股庶、管、經

(丁)

外務省

記帳済

0095

電信寫

74401

昭和二一 四四四八 平 愛知 八月二日 一五〇〇 發 絡設
 本省 五日 一〇〇〇 着 愛知縣知事

設 營 部 長
 (警察無線經由)

(勞務月報の件)

占領軍用勞務者供出月報(七月分)

A、二二六九
 B、二二六九
 C、二三〇〇
 D、一三九六二三八二四
 E、なし

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(丁)

記録本

8888

外務省

電信寫

74401

昭和二一 四四〇〇 平 新潟 八月二日 一五〇〇 發 絡設
 本省 四日 一〇〇〇 着 新潟縣

設 營 部 長
 (勞務月報の件)

進駐軍勞務月報

(1) 二七八
 (2) 二七七
 (3) 二九三
 (4) 一二三八四八圓〇七錢
 なし

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(丁)

記録本

8887

外務省

電信寫

78901

昭和二一 四四五三 平 高知 八月二日 六四八發 絡設
五日 一三四着

吉田 總裁 高知縣知事

(警察無線經由)

(勞務月報の件)

七月分勞務月報

A、一二七

B、一一八七

C、一二一四

D、一四三〇二五七圓七九錢

内前月繰越一二六一〇圓一五錢を含む

E、なし

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、経

(丁)

外務省

電信寫

78901

昭和二一 四四一三 平 横須賀 八月三日 一〇發 絡設
本省 八月四日 一〇發

吉田 總裁 佐藤事務局長

第五九號

(勞務月報の件)

貴電合第七二號に關し

七月末に於ける調電左の通り

A 四九七〇、九名

B 四六七一、六名

C 五三六八名

D 六月分繰越支拂高三五三〇、八二一圓八五

七月分支拂高二〇五五六〇圓〇一

進駐以來累計 三、四九五二、二六圓〇九

E 大豆三三五六九疋六〇〇見積價格六三一、一圓六〇〇

外務省

電信寫

右は聯合軍よりの引繼物資を市役所に於て無償配給し、一月二〇〇瓦支給、
神奈川縣知事へ轉電せり
配布先 文、電、絡祕書、絡設庶、營、經
(丁)

外務省

昭和二一 四四三四 平 佐世保 八月三日 一分發 絡設

吉田 總 裁

三浦 事務局長

第一八一號(至急)

(勞務月報に關する件)

貴電會第七二號に關し

- (A) 七、四五〇
- (B) 七、八八二
- (C) 七、三九八
- (D) 五、一四四、五〇六〇圓六九錢
- (E) 四四、二一二圓二〇錢

配布先 文、電、絡祕書、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

RH'-0021

0069

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

7440.1

昭和二一 四三八七 平 千葉 八月三日 一〇一〇 發 絡設
 本省 四日 一〇〇〇 着

設 管 部 長 千葉縣知事

勞務月報七月分 (七月分勞務月報)

(A) 八六九
 (B) 八六二
 (C) 一〇三四
 (D) 四三七〇 八圓六五錢
 (四) 三九圓前月繰越額あり

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、管、經

(了)

外務省

不審

0100

電信寫

7440.1

昭和二一 四三九一 平 岐阜 八月三日 一〇一〇 發 絡設
 本省 四日 一〇〇〇 着

設 管 部 長 岐阜縣知事

勞務月報七月分 (七月分勞務月報)

(A) 一三三三 各港備三三三者
 (B) 一七一七 各港備三六八者
 (C) 一四六四 各港備三九四者
 (D) 六三三六 各港備一六三八 八九九

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、管、經

(了)

外務省

不審

0102

RH'-0021

0000

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

計	D	A	B	O	D
	六六七九八三、四四錢	五九六九	五九四一	四二八三	二二九七六八〇、六四錢
					配布先 文、電、給秘書、給設庶、營、經
					(了)

外務省

0105

電信寫

74801

常備	D	O	B	A	日備
	一六二九六九七、二〇錢	二八三四	二五三八	二五四八	
					昭和二一 四三九四 平 京都 八月三日 一〇〇〇 著 設
					吉田總裁 吉岡事務局長
					第二二七號 (七月分勞務月報提出の件)
					七月分勞務月報左の通り報告する
					一四四八
					一四〇五
					一四二一

外務省

0104

電信寫

74801

昭和二十一年四月一日 平
本福井八月五日
四月一日
福井縣
設警部長
(勞務月報の件)
勞務月報七月分

- A 一三一人
- B 一三一人
- C 一〇六人
- D 五四大五(四四〇)
- E 五
- F L

配着先 文、電、給秘、給設の庶、營、經

(丁)

外務省

記録

8106

電信寫

74801

七月分勞務月報

- (イ) 一三〇八人
- (ロ) 一三三七人
- (ハ) 一三三七人
- (ニ) 一七八九七三六圓
- (ホ) 一

(警察無線經由) (勞務月報の件)

昭和二十一年四月四日 平 山形 八月三日
五日
青田總裁 山形縣内務部長
給設

配布先 文、電、給秘、給設庶、營、經

(丁)

外務省

記録不

8107

RH'-0021

0072

電信寫

74401

昭和二一 四四五五 平 石川 八月三日 發
吉田 總裁 本省 五日 發
石川 縣知事

(警察無線經由)

(勞務月報の件)

勞務月報七月分

A、三三二〇人

B、三三二〇人

C、三一六人

D、一七四七〇九一六圓

E、なし

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

記帳不

0105

電信寫

74401

昭和二一 四四五七 平 福岡 八月三日 發
本省 五日 發
福岡縣外務課長 絡設

設 營 部 長

福岡縣外務課長

(警察無線經由)

(勞務月報の件)

七月分月報

A、八六八六

B、八四七二

C、一〇六九六

D、五三九四〇一四六九錢

E、五一〇一五圓

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

0108

電信寫

74.9.0.7

昭和二一 四四五八 平 宮城 八月三日一四九發 絡設
 本省 五日一四〇着

次 長 宮城縣知事

(警察無線經由)
 (勞務月報の件)

勞務月報七月分

A 一一〇七四
 B 九七六七
 C 一一三二四
 D 八八六〇五九五圓五二錢
 E なし

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

記帳不要

0116

外務省

電信寫

74.9.0.7

昭和二一 四四六〇 平 鳥取 八月三日一四二五發 絡設
 本省 五日一四〇着

設營部長 鳥取縣知事

(至急) (警察無線經由)
 (勞務月報に關する件)

進駐軍に關する勞務月報

A 四七六二二圓
 B 一五三七圓
 C 一七九五圓
 D 七九三九一三、八三圓

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

外務省

0114

電信寫

(一) 一般勞務者	一五三	一六八
技術者	一〇六	九六一
女	二二八	四七六
(二) 女	なし	

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、録

(了)

外務省

0118

電信寫

24401

(一) 一般勞務者	二五五	九九九
技術者	一八〇	一四四
女	七二五	四九九
(二) 一般勞務者	二〇六	一
技術者	一五五	八
女	八二〇	

勞務月報七月分 (勞務月報の件)

設管部長

昭和二一 四四六一 平

山口 八月三日 一四〇〇 發
本省 電日 一〇二〇 着

山口縣内務部長

絡設

外務省

0112

RH'-0021

0075

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

PC. 4. 0. 7

昭和二十一年 四五一六 平

設 營 部 長

(警察無電)

(勞務月報に關する件)

七月分月報

A、八六八六 B、八四七二 C、一〇六九六 D、五三九四〇
一、一圓六九錢 五、五一四一五圓

(整一四九)

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(了)

福岡 八月三日 六四四發
本省 六月一日 四〇着
福岡縣外務課長

記録不要

6115

PC. 4. 0. 7

昭和二十一年 四五〇七 平

吉田 總裁

(警察無級理由)

(勞務月報報告の件)

勞務月報 (七月分)

イ、一六二九名
ロ、一六四七名
ハ、一七〇七名
ニ、五一六三七四圓三〇錢

外に前月分繰越し支拂額四九二九圓三〇錢

ホ、無し

本覽宛先 總裁、仙臺

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(了)

岩手 八月三日 一六三〇發
本省 六月一日 四〇着
岩手縣内務部長

記録不要

6114

電信寫

P4401

昭和二一 四四四一 平 厚木 八月四日一七一七發 絡設
 本省 五日九一〇着

吉田 總裁 今井出張所長

第一六號

(勞務月報に關する件)

七月勞務月報次の通り

A 二四六七
 B 二四五二
 C 三一八三
 D 二一五〇九三四、〇四

配布先 文、電、絡秘、絡設庶、營、經

(了)

外務省

P4401

昭和二一 四四四二 平 高知 八月四日一七五六發 絡設
 本省 五日〇五着 知縣

吉田總裁

(勞務月報提出の件)

七月分勞務月報

A 一二七三 B 一一八七 C 一二一四 D 一四三二五七圓七九錢

内前後繰越一二六一圓一五錢を含むに無し

配布先 文、電、絡秘、絡設の庶、營、經

(了)

記帳簿

RH'-0021

0077

電信寫

昭和二一 四四八二 平 德島 八月五日一六一二發 絡設
 本省 五日二〇一二着 德島縣知事
 吉田 總裁
 (勞務月報提出の件)
 七月分月報
 A、九九六 B、九九一
 C、一一一八 D、三七九九四六圓八〇錢
 E、無し
 配布先 文、電、絡祕、絡設庶、營、經
 (了)

外務省

和二三 四五〇八 平 大阪 八月五日一二五五發 絡設
 本省 六日一二〇〇着 小瀧事務局長
 設營部長
 一二二號 (警察無線經由)
 (勞務月報報告の件)
 大阪府七月分勞務月報左の通り報告す
 A、七一一四四
 B、七一一二六
 C、七七〇六
 D、五、八八八、七八七圓六七錢
 殘業賃金六二、八〇五圓五二錢及前月分繰越し四、三七八名分
 を含み本月未支拂人員三、五七二名分を含ます
 E、四〇、五四〇圓六〇錢(但し有料記給)
 配布先 文、電、絡祕、絡設の庶務、營、經
 (了)

94401

24921

0113

0118

28901

昭和二十一年四月五日 平
青森 八月五日
本省 六日
青森縣内務部長 着
不要記
絡設

吉田總裁
(警察無線經由)

(勞務月報報告の件)

七月分勞務月報

陸軍

- A 一七四四
- B 一七七六
- C 二〇九七
- D 一四四六〇一四圓三四錢
- E 無し
- 赤十字
- A 一八
- B 一八
- C 一七

D 一一二六二圓

E 無し

計 一七六二

B 一七九四

C 二一一四

D 一四五七二七六圓三四錢

E 無し

D 項の内先月分繰越し拂額一六八二三圓五〇錢の件(了)
配布先 文、電、絡秘、絡設の庶、營、經

0121

0120

電信寫

24901

昭和二一 四四七八 平 浦和 八月五日 一四二一分發 絡設
本省 六日 九二一分着
埼 玉 縣

(勞務月報)

七月分勞務月報

- A、常備一八六八 日備六八九三
- B、常備一八七〇 日備六九一一
- C、常備一七五一 日備七五〇四
- D、常備一四五八〇七七圓二五錢
- 日備 五一八五四〇圓六〇錢

配布先 文、電、絡秘書、絡設の庶、營、經

(丁)

外務省

電信寫

24901

昭和二一 四五〇二 平 高橋 八月五日 一四〇〇分發 絡設
本省 六日 一四〇〇分着
香 川 縣

吉田 總裁

(勞務月報報告の件)

七月分勞務月報

- 一、二九〇名
- 二、二八〇名
- 三、三〇五名
- 四、一〇六、四四四二圓

五、該當無し

配布先 文、電、絡秘書、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

電信寫

78901

昭和二一 四四九四 平 大津 八月五日一七〇〇發 絡設
 本省 六日〇九四〇着 木村連絡官

吉田 總裁

(勞務月報の件)

七月分勞務月報

A、アメリカ九九二人 英國二人
 B、アメリカ二三五人 英國二人
 C、アメリカ二三五人 英國二人
 D、四〇三九三三圓一九錢
 E、三〇八三五圓二一錢

D、に對しては英國には未だ支拂ひせず

配布先 文、電、絡祕、絡設庶、營、經

(丁)

外務省

0124

電信寫

78901

昭和二一 四四八九 平 和歌山 八月五日一〇〇〇發 絡設
 本省 六日〇九〇五着 佐藤事務局長

吉田 總裁

第五七號

(七月分勞務月報に關する件)

七月勞務月報左の通り

A、五七〇
 B、五七〇
 C、六四三
 D、三六〇、七二四圓三五錢
 E、なし

配布先 文、電、絡祕、絡設庶、營、經

外務省

0125

RH'-0021

0001

電信寫

増設なし
 労働管理に付ては遺囑なきを期しツツあり労働運動に關しては
 特異事項なし
 へ談話なし
 備有先 吏、電、給秘書、給設備、管、經

(丁)

外務省

0127

電信寫

昭和三一 四五八〇 平 備台 八月五日 一六〇〇 發 給設
 本署 八月一日 一〇〇〇 燈
 山形縣内務部長
 (警察編成理由)
 (勞務月報)
 七月分勞務月報
 米澤市津田運太郎他三名の住地は將校用宿舎として撥收さる
 備 備 備
 一六八七 一六二一 二九〇三
 一六八七 一五五〇 二八三二
 一六九四 一六二二 三七四六
 七五三八六七〇八圓 (一〇四六八六八二圓 五〇六四四九一五圓)
 (内前月よりの繰越 (前月よりの繰越拂四 (前月よりの繰越拂
 拂額一九三九六七、三三三八五、三五圓) 二〇四六九四、一五
 五圓)

外務省

0126

RH'-0021

0082

電信

昭和二一 四五五九 平 長野 八月六日一四四二發
 本省 八日〇八四五着 絡設
 長野縣内政部長
 設 營 部 長
 (勞務月報提出の件)
 七月分勞務月報
 A、一、一八八、五
 B、一、一七五、三
 C、一、二四九
 D、五一六、五五六圓九六錢
 配布先文、電、絡祕、絡設庶、營、經
 (了)

外務省

昭和二一 四五七九 平 廣島 八月六日一〇三〇發
 本省 八日一〇〇〇着 絡設
 廣島縣教育民生部長
 吉田總裁
 (警察無線經由)
 (勞務月報)
 勞務供出狀況月報(七月分)
 (A) 一四六〇九名
 (B) 一三八七五名
 (C) 一五三六八名
 (D) 支拂濟 五三一八九一三圓四二錢
 未 拂 五六一七三二六圓九八錢
 計 一〇九三六二四〇圓四〇錢
 配布先文、電、次長、絡祕書、絡設庶、營、經
 (了)

0128

0128

RH'-0021

0083

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

24491

昭和二一 四五五四 平 長崎 八月七日 一六二〇 發 絡設
 本館 七百一七
 設 管 部 長 長崎縣内務部長
 (勞務月報訂正の件)
 本日電報報告の勞務月報中次の通り訂正す、
 九六號(丁) 〇五二六、五六一〇
 配布先 文、電、絡設、絡設庶、管、經

0131

外務省

24401

昭和二一 四五五三 平 横濱 八月七日 一六三〇 發 絡設
 本館 七百一六四〇 着
 鈴木事務局長
 設 管 部 長
 (至急)
 (勞務月報提出の件)
 勞務月報の件
 七月分勞務月報左の通り通報致します
 A 四九六二〇 B 四九〇三一 C 五七一一五〇 D 三七六五三三二六圓二
 九錢B無し(丁)
 配布先 文、電、次長、絡設部長、絡秘書、絡設庶、管、經

0138

RH'-0021

0084

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

電信寫

配布先 文、電、総務省、総務局、管、経

外務省

0133

電信寫

20001

昭和一一 四月六日 平 和義山 八月七日 〇〇〇 設
草 省 八月 九日 九二八 増
位 務 局長

第六〇號

(勞務月報訂正の件)

往電第五七號に關し

本大臣官廳地事課の要求に依り右数字中より通譯等を除外して左
記の通り訂正するから御承知ありたい

- A、五七七
- B、五七七
- C、五八五
- D、五五五、五九九、一五〇
- E、無し

了

外務省

0132

電信寫

24901

昭和二一 四五七一 平 松江 八月七日 一七二七發 本省 八月 九四六着 絡設

吉田 總裁 島根縣知事

(至急) (事務月報に關する件)

事務月報七月分

A. 七二〇 B. 七七一 C. 八二二

D. 支拂済一〇〇〇〇〇圓 支拂未済七〇九九圓

E. なし (丁)

配布先 文、電、絡秘書、絡設廠、管、經

外務省



191

昭和二十一年八月七日

終戦連絡中央事務局序不系張所

所長 今井 長夫

終戦連絡中央事務局次長殿

事務月報送付の件

本件に關し別添の通り七月分送付すに付御査閲願いたし

本信寫送附完

終戦連絡所領地中事務局長 神奈川縣 勸業課長

電信案

外務省

0134

RH'-0021

0086

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records National Archives of Japan

電信案

外務省

七月分勞務月報

一、七月中新ニ得收セラレタル建物及進駐部隊
ナシ

二、三、四、五、七月分進駐軍向職種別勞務者
要求數並ニ供給數及未供給數

電信案

外務省

(1) 常備勞務者

職種	要員數	供給延員數	殘業時間數	支拂金額(円)	支拂率(%)
Interpreter	一四七六	一四七六	二八五八	八八、六七六	六四
Clerk	七〇九	七〇九	一九六	一八、八七三	八四
Secretary	二八〇	二八〇	六二四	二一、六七七	四四
Typist	二〇七	二〇七	二二四	六、三〇二	八〇
Messenger	三〇一	三〇一	三七八	一三、六七一	四四
Foreman	九二	九二	一〇四	四、二三〇	三二

Artist	三六	三六	一四四	三〇四八	三四
Doctor	四一	四一	六四	二八五一	六〇
Desk hand	四〇	四〇	六四	一五六〇	九六
Office boy	四六	四六	/	七五九	〇〇
Dentist	二一	二一	三二	一、三八〇	八〇
Superintendent	二〇	二〇	三二	一、〇八〇	六四
Photographer	二一	二一	三二	九五〇	五六

電信 業

外 務 省

Stenographer	二一	二一	三二	七八〇	四八
Janitor	二〇	二〇	三二	五二〇	三二
Mechanic	一〇〇	一〇〇	三二二	三七七二二	一六
Driver	六九	六九	一、七二六	三四、〇七三	四四
Boiler man	九七九	九七九	六四	二八、七〇二	七二
Carpenter	七七七	七七七	/	二五、七二六	五〇
Plumber	六一三	六一三	/	一八、五五八	二〇

電信 業

外 務 省

Electrician	四三七	四三七	四三七	三二	一三二四六	六六
Pumper	五三六	五三六	五三六	/	一三五一一	〇〇
Technician	一四〇	一四〇	一四〇	二二四	七五二三	九二
Painter	二二二	二二二	二二二	三二	六八七七	二二
Tin-smith	一五四	一五四	一五四	/	五三八九	〇〇
Glass man	八〇	八〇	八〇	/	三四七七	〇〇
Engineer	九四	九四	九四	/	二七七〇	一〇

電信業務

外務省

Line man	一二〇	一二〇	九六	三三六	九六
Teletype technician	二一	二一	三三	一七九	一八
Radio technician	五〇	五〇	七二	一〇五一	七二
Telephone repairman	一八	一八	二四	七四七	六八
Typewriter repairman	八	八	一〇	六九五	八〇
Light laborer	一〇三五	一〇三五	一四四	二四九五六	六四
Heavy laborer	六〇	六〇	九六	二二一一	三六

電信業務

外務省

RH'-0021

0089

Longo laborer	二〇	二〇	三二	九一〇	五六
Writer	二一八三	二一八三	二二〇三	二〇五八	九一
Book	七八六	七八六	七九九六	七二六九	七五
Baker	二七九	二七九	二六七五	二五二七	四三
Amak	一〇二	一〇二	一六〇	四二三七	五二
Barber	七九	七九	一二八	三四二〇	〇〇
Seamstress	九〇	九〇	一四四	二六七六	五六

電信業

外務省

Laundry man	六三	六三	二六四五	三〇九五	三八
Bartender	四二	四二	二七一	三七八三	五〇
Tailor	三八	三八	大四	一八七六	一二
Pressmaker	四二	四二	六二	一六五五	九二
Barrack keeper	二一	二一	八二	一一九八	八八
Leather man	二一	二一	三二		
Designer	二一	二一	四八	一〇一五	八四

電信業

外務省

447

電信案

Book-keeper	二〇	二〇	三二	八二〇	四六
House-keeper	二〇	二〇	三二	六五〇	四〇
Rental assistant	三三	三三	四八	一四〇五	〇四
合計	一三〇	一三〇	一一〇	六二六五八	〇七

外務省

(四) 日 綿 勞 務 者

職 種	單 位 人 員	賃 給 人 員	支 拂 金 額 (單 位 月)	外 務 省
Heavy laborer		一八、九九八	五二〇、四七〇	五九
Light laborer		二四、七九七	四八九、一三四	一八
Heavy		未付	未付	未付
Carpenter		二、六四七	八六、三四一	八九
Plumber		一、二四六	三九、三八五	八五
Electrician		四、六五九	一四九、六二三	八六

電信案

Driver		六六三	一八、三五一	六九
Business manager				
Mechanic		二一九〇	六八、七二六	五八
Houseman		一五五〇	二七、六三四	一五
Female laborer		四七五八	八三、四〇一	八一
Cook		四三七	一〇、〇二〇	一八
K. P.		四三六	八、六五六	〇二

電信案

外務省

Painter		一三〇	三、八四〇	二九
Tailor		一六	四五六	四〇
Bosher Man		九六	八、五一七	六〇
Handyman		三三九	九、七九二	九〇
合計	六三四一六	六二、九五五	一、五三四、三三九	九七

電信案

外務省

0092

RH'-0021

電 信 案 二

外 務 省

六、無償支給物資品名、員数等 十三

註一、常備勤務者ノ専求数ハ明示セザル
故東洋ニ支給セシ人員数トナル

二、日備勤務者ノ専求人員ハ員数ノ三
一折專求シ、来タルヲ以テ職別別執行
不明ナリ

三、日備勤務者ニ支給人員車ニ貸銀支拂
類ハ前月ニ屬スルモノニシテ支拂
遲延ノ為毎月ニ繰入トナルモノナリ

六、郵務管理ノ方針並ニ理由ニ付

一、郵務管理ノ方針並ニ理由ニ付

付日 七月二十五日 一、二十時

郵務管理ノ方針並ニ理由ニ付

日備勤務者ノ専求人員ハ員数ノ三
一折專求シ、来タルヲ以テ職別別執行
不明ナリ

三、日備勤務者ニ支給人員車ニ貸銀支拂
類ハ前月ニ屬スルモノニシテ支拂
遲延ノ為毎月ニ繰入トナルモノナリ

終戦連絡厚木出張所

九
 其
 也
 十
 一

終戦連絡厚木出張所

八月七日
 厚木
 終戦連絡厚木出張所
 局長
 一ノ宮
 隆夫
 様
 拝啓
 今、終戦の佳期を迎へるに當り、先づ、御慶び申し上げます。

終戦連絡厚木出張所

八月七日
 厚木
 終戦連絡厚木出張所
 局長
 一ノ宮
 隆夫
 様
 拝啓
 今、終戦の佳期を迎へるに當り、先づ、御慶び申し上げます。

寫

厚運普第一九一五

昭和十一年八月七日

終戦連絡中央事務局厚木出張所

所長 今井重夫

終戦連絡中央事務局次長殿

勞務月報送付の件

本件に関し別添の通り七月分送付するに付
御査閲願ひたい

本信寫送附先 終戦連絡横浜地方法務局長
神奈川県勤勞課長

神奈川県勤勞課長

外務省

七月分勞務月報

一七月中新ニ接收セラレタル建物及進駐部隊

ナシ

二三四五、七月分進駐軍向職種別勞務者要求数並ニ供給数及

支拂金額

の常備勞務者

職種	要求延人員	供給延人員	殘差人員数	支拂金額(單位円)
Interpreter	一四七六	一四七六	二八五七	八、六七六
Clerk	七〇九	七〇九	一九六	一、八七三
Secretary	二八〇	二八〇	六二四	二、六七七
Typist	二〇七	二〇七	二二四	六、三〇二
Manager	二〇一	二〇一	三七八	一、六七一
Foreman	九二	九二	一四四	四、一三〇

外務省

RH'-0021

0095

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

Artist	三	三	一四四	三〇四八	二四
Doctor	四一	四一	六四	二八五一	六〇
Desk hand	四〇	四〇	六四	一五六〇	九六
Office boy	四六	四六	/	七五九	〇
Dentist	一一	一一	三二	一三八〇	八〇
Superintendent	一一	一一	三二	一〇八〇	六四
Photographer	一一	一一	三二	九五〇	五六
Stenographer	一一	一一	三二	七八〇	四八
Janitor	二〇	二〇	三二	五二〇	三二
Mechanic	一〇〇三	一〇〇三	三二二	三七七二二	一六
Driver	六二九	六二九	一七一六	三四〇七三	四四
Boiler man	九七九	九七九	六四	二八七〇二	七二
Carpenter	七七七	七七七	/	二五七二六	五〇

外務省

0137

Plumber	六三	六三	/	一八五五八	二〇
Electrician	四三七	四三七	三二	一三二四六	六六
Pumper	五三六	五三六	/	一一五一一	〇〇
Technician	一四〇	一四〇	二二四	七五一一三	九二
Painter	二二二	二二二	三二	六八七七	二二
Tin-smith	一五四	一五四	/	五三八九	〇〇
Glass man	八〇	八〇	/	二四七七	〇〇
Engineer	九四	九四	/	二七七〇	一〇
Line man	一一〇	一一〇	九六	三三六〇	九六
Teletype technician	一一	一一	三三	一一七六	一八
Radio technician	五〇	五〇	七二	一〇五一	七三
Typewriter repairman	一八	一八	二四	七四七	六八
Typewriter repairman	八	八	一〇	六九五	八〇

外務省

0138

0096

RH'-0021

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan

Light laborer	1,035	1,035	144	2,495	64
Heavy laborer	60	60	96	6,211	36
Cargo laborer	20	20	32	910	56
Waiter	113	113	120	1,589	81
Cook	76	76	79	736	55
Baker	27	27	23	2,512	33
Amah	10	10	16	427	52
Barber	7	7	12	342	0
Seamstress	9	9	14	2,676	56
Laundry man	63	63	24	3,095	38
Bar tender	42	42	21	3,783	50
Tailor	38	38	64	1,876	22
Dressmaker	42	42	62	1,655	22

外務省

0139

Barrack-keeper	21	21	22	1,198	68
Leather man	21	21	32	1,110	56
Designer	21	21	48	1,015	64
Book-keeper	20	20	32	220	66
House-keeper	20	20	32	650	40
Dental assistant	33	33	48	1,405	40
合計	1,305	1,305	3,162	6,265	707
(四) 日 腐 務 務 者					
職	種	要 求 人 員	供 給 人 員	支 拂 金 額 (單 位 円)	
Heavy laborer			1,899	15,204	59
Light laborer			2,477	4,813	18
Carpenter			264	8,341	89
Plumber			246	3,385	85

外務省

0140

0139

0097

RH'-0021

Electrician		四、六五九	一四九、六二三	八六
Driver		六六三	一八、三五一	六九
Mechanic		二一九〇	六、七二六	五八
Foreman		一、一五〇	二七、六三四	一五
Female Laborer		四、七五八	八三、四〇一	八一
Cook		四三七	一〇、〇二〇	一八
K.P.		四二六	八、六五六	〇二
Painter		一三〇	三、八四〇	二四
Tailor		一六	四、五六	四〇
Boiler man		九六	六、五一七	六〇
Gardener		三三九	九、七九二	九〇
合計	六三、四一六	六二、九五二	一、五二四、三五三	七〇

外務省

0142

註一、半備勞務者、要求枚、明示セザル故、實際ニ供給セシ人員、枚トナル。 二、日備勞務者、要求人員、實枚、三、拾要求シ來タルヲ以テ、職種別統計不明ナリ。 三、日備勞務者、供給人員、並ニ借銀支拂額、前月ニ屬スベキモノ、シテ支拂遲延、爲當月ニ歸入シタルモノヲ含ム。	
六、無償支給物資、品名、頁枚等	ナシ
七、勤勞管理、労働運動等ニ関スル件	労働管理給業者と懇談會 時日 七月十七日、十四時—二十時 場所 所長官舎

外務省

0144

RH'-0021

0098

出席者 逓達側合井所長、多田運送官、吉田の松官外三名
 日藤勤業署 岩崎、山田、谷屋の松官
 業者側 六業者、飯友及於各一不
 中央ヨリ逓達軍務松官松官松官者、全面の排除、イ針ヲ更ニ徹底
 セシムル指示アリタルヲ以テ之ハ準備工作トシテ業者側ニ於テ三斯ル大
 勢、動キハ察知シ来レカニ見文ケラレ際、寧ロ口端のニ政府ニ意固ヲ
 明示シ以テ彼等揣摩憶測ヲ掃シ大勢其フトコロ止ムナキヲ得得セシメ
 腹ヲ決メサセルト云ニ之ガ切替、際月滿遂行ヲ期スベク腹ヲ割ツテ談
 セリ
 大丸組阪本社社長、海谷組、海谷社長及難波組難波副社長ヨリ
 夫ニ從來親合、子合、別係、長所美、夫ヲ與テ今ヨリ是様性ヲ
 此ノ子松官松官松官カシ来リカ、政府大ニ針トスル之亦止ムナシ、タダ
 官来日本陸特、仁茂ニ長所美司令現理解セラレザルハ遺憾ナリ

外務省

0143

半、河原アリタルガ時、文ニ懇談、結果、互合了解ヲ深メ切替、
 時期ニ至ラ、其ノ方法ニシテ慎重ナル準備ヲ以テナザバ月滿遂行シ
 得ルカ大體、見送シツキル次第ナリ
 一 勞務對業協議會
 時日 七月十七日 十一時及十八日 十五時
 勞務狀態改善ニ関シ、勤勞署長ト對業協議會ヲ開催
 一 勞務改善打合せ
 時日 七月二十一日
 出席者 合井所長、多田運送官、中井源次
 逓達軍側 メドロー勞務士官
 日藤勤業署側 関之署長、山田、岩崎、谷屋の松官
 業者側 厚木地色勞務協會長、及幹部
 メドロー勞務官ヨリ土地勞務能率増進案ニ付十五項目ヲ提案シ可及的

外務省

0144

RH'-0021

0099

東カニ實現ヲ要スルアリタルガ全額ヲ採用スルハ種々困難ヲ伴フ
 事ヲ勞務協則ヨリ所陳アリ勞務官ヨリ取テ履行セントス思ヒ非ス
 其取旨ヲ以テ對策ヲ實現ヲ要望アリ尚ホヨリ極力希望ニ
 副シ標榜カスベキ旨答ヘタリ

八七月中ニ發出老通原旨

"Counter Measures to Promote Labor Supply and Its Efficiency"

九其他ナシ

外務省

厚木基地勞務情況

一 厚木基地部隊情況

厚木基地には昨年八月迄は第五空軍部隊 (Fifth Air Corps) 駐在し
 居りたるが基地改造のため一部を疎く大部隊は横田及千歳に移動
 九月下旬第八軍訓練部隊 (8th Army Replacement Training Center) が駐屯
 し居り即ち現在第五空軍管下の *The Air Service Group* と第八軍
 訓練部隊 (44th Company) が駐屯し居り此等にして職場とては約廿一
 ヶ所ある。この他は第八軍管下の *SST Engineer Detachment Company* が
 厚木町河原口にある現在の駐屯人員は約二千名である。

一 勞務供給情況

昨年中旬に到る間は勞務供給は常に不足を來せし充足に苦心し來た
 のであつたが第五空軍基地改造工事の爲横田に移動が行はれてより
 は職場の減少と來駐せる第八軍訓練部隊がその性格より兵員を
 使役する事多きこと、基地改造の爲航空機着陸の皆無に近きこと

よりする作業の減少、第八軍の請負制採用の方針のため、人員は漸次過剰となり、昨年十月より本年一月末迄の間は三回に亘り約五百名の人員整理が行はれ、現在は人員過剰の爲整理に考慮すると云ふ逆現象を呈する次第となつた。従つて現在全般的に労務者の新規採用は行はれず、只ニ、三の特殊の技能者に對し、僅かに供給を行ふ程度に過ぎない有様である。現在切替を行ふ常備労務者数は八百五拾七名である(内に請負制に依る白洋社一八名を含む)

一、労務獲得状況

當地周辺は農家の爲、技能者の労務獲得には相當の努力を要する。次第であり、且つ一般労務者も農繁期と農閑期とでは就働数に大巾の差を生ずる(英文タクト等は殆ど附近より採用するは困難にして基地内で養成し以て充足した実情である)

一、労働組合の現況

現在述當所と關係を有する労働組合は厚木基地労働組合と厚木

地區進駐軍要員労働組合の二つである

厚木地區労働組合は總同盟系に属しその母体となりたるものは一昨年當所幹旋の下に内務省の協力を得米軍側の一機關として設立を以て基地工作隊にして工作隊に就勞中の邦人労務者約三百名が昨年四月結成せるものである。従つて強固なる組織体を基礎として居る。おける本組合の團結力、組織力は堅實強固なるものがあるわけである。その動向は穩健にして、組合員の質向上、能率増進に多大の努力を拂ひ居り過激な要求の提出等も行なつて居ない。尚從前の日備労務者より成れる厚木航空基地第一労働組合(昨年十月十五日設立)も之が常備化されたるを機に本組合と合流することを合議成立して居る。厚木地區進駐軍要員労働組合は昨年八月各職場の労務者を統合し結成したもので産別系に属し前者に比すれば團結力、組織力は薄弱にして何等統一なく組合員数の増加にのみ急なるものがある。

ATSUGI LIAISON OFFICE

No. 66

26th July, 1946.

Subject : Counter measures to promote labor supply
and its efficiency.

To : Colonel Underhill,
Commanding Officer,
Atsugi Army Air Base.

1. Improvement of laborers' wages

The Central Liaison Office has decided to make following improvements as present wage scale is rather difficult to induce laborers to this Base.

- a) For permanent employees:
- | | |
|---------------------|--------------------------|
| Family allowance | Y 40 per person |
| Over time allowance | 150 % per hour extra pay |
| Absentee | off 1/20 per day wage |
| Holidays | Saturday & Sunday |
| " (special) | 2 days per month |
| Temporary allowance | Y 250 |
- (Scheduled to pay equally to each Atsugi Base laborer from June on)
- b) To improve temporary wages and to balance with permanent wages complying with its "frame"
- c) To make an utmost effort to make laborers as permanent employees.
To pay one month temporary allowance and family allowance, under the column (a), to those employees, who will be turn to regular employees, have attended over one month.

2. Inspection of actual places and labor conference.

To form a patrol unit of four men consisting of the staff of the Liaison Office and the Labor Office to inspect all actual places occasionally, and open temporary conference at each unit or actual working place with the officer in charge in order to raise labor efficiency.

We are disirous that you will take this matter in careful consideration for its inconvenience as the supply is on Japanese side and employment is on the side of the Occupation Forces.

-1-

0150

全通駐軍要員労働組合本部の應援を待たその動向も過激なるものあり且その動きも幹部二三の意図に出づる場合多くテモ行動等も行な例がある次第で現在内部的も相當混乱あり模様である。現在組合員約四百名に近し。

0145

RH'-0021

0102

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

3. Measure to obtain new laborers.

We ask your help to dispatch trucks to the supplying places for obtaining new laborers to induce them to come here as there is bottle-neck of unsmooth service and high fare of traffic at present.

a) Hiratsuka district, front of Hiratsuka Station 3 trucks.

At present we are supplying about 100 men for the strip, but there is prospecting increase of other 50 men or more.

b) Aiko interior district, Ogino, Tashiro - 1 truck.

Stopping at three places:-
Front of Naka Ogino school,
Front of Post Office, Shimo Ogino, and Tashiro
for prospecting number of 50 men.

All these new laborers are for the strip, so 872nd Group in this relation will give facilities on truck service is desired.

4. Measure to attach laborers

The Atsugi Labor Office will be in charge of roll-call at the gate every morning. Attaching men to each unit must be settled rationally as some units requested more than needed, so to make distribution practically we need cooperation of all corps, and let the Labor Office take responsibility for this.

5. Improvement of equipment at working places

As it is recognized that the labor efficiency is lowering owing to bad conditions of strip, it is desirable to accommodate certain places for watering, to keep their luncheons, resting, and latrine.

6. Securing special distribution of prime articles

Present state of food condition may be the prime reason for lowering labor efficiency we are trying specially to obtain extra ration of rice, working shoes and clothes for Occupation Forces laborers from the Prefectural Government, and in case those articles are not enough in number we intend to distribute them among those engaging heavy labor, as this practise may encourage them.

We have received a telegram from Vice-President, C.L.O., which read as follows,

In regard to the premise condition to maintain an additional quantity of food supply for Occupation Forces laborers as the condition of food supply is entirely destituted, specially after July some districts where they are always relying on food sent in from other prefectures

must depend on a turning out imported food.

On this account, those districts like Tokyo, Yokohama, Kyoto, Osaka and Kobe where depending on imported food as well as even some self-supplying districts became almost be able to expect operation of intended essential food supply.

Hereafter, it is certain to expect the maintenance of distribution of additional food for the Occupation Forces laborers. Therefore, with this understanding we expect that you will treat this matter satisfactorily making necessary arrangement with other offices. ~~Q.~~ has a special interest with this matter.

7. Labor School

In order to improve the quality of laborers and increase efficiency, we planned to establish the P.U. (Principe Unique) Labor Association as attached appendix 1 and 2, and labor schools at Yamato, Otsuka and Tsuruma near the Base.

a) Yamato Labor School

The object of this school is to train leading member of laborers, and 20 persons accommodated and 30 persons to attend lectures. The structure of the school is going on and will complete at the end of July and will be opened on 6, August.

b) Otsuka Labor School

This school takes advantage of Namba Gumi's dining-shed, which is under reconditioning, to train special laborers, ~~as~~ ~~the~~ ~~grade~~ ~~technical~~ ~~school~~ of wood work, etc, and common laborers. It can accommodate 200 persons. Reconstruction of the school will be completed at the end of August, but, as one structure is expected to be finished at the end of July, lessons will be given partially from the beginning of August.

c) Tsuruma Labor School

This school is now under planning of Daimaru Gumi, we are encouraging them to complete the school during the month of August. It can accommodate about 100 persons. The object of the school is to train common laborers.

8. Rational improvement of food life

In order to prevent decline of labor efficiency due to the shortage of food stuffs, it is necessary to make an exhaustive study for its scientific way of cooking of nourishing food and perfect digestive exercise. Thereupon we introduced Mr. Joichi Sakurazawa, who have made a special study of this problem for thirty years and is a promoter of P.U. Association, to all ~~the~~ ~~units~~ ~~of~~ ~~the~~ ~~base~~ ~~and~~ ~~to~~ ~~assist~~ ~~the~~ ~~management~~ ~~of~~ ~~their~~ ~~dining-shed~~ ~~to~~ ~~this~~ ~~association~~ ~~and~~ ~~the~~ ~~business~~ ~~is~~ ~~ready~~ ~~to~~ ~~start~~ ~~as~~ ~~soon~~ ~~as~~ ~~the~~ ~~recon-~~

struction is completed. We are also negotiating with Daimaru Gumi for the concrete problems as to houses, equipments and conditions, to carry this plan into execution in near future. As all the other Gumi have also originally understood the aim of the association, we are urging endeavours to spread and practise it.

9. Offering facilities for housing to laborers

There are some vacant houses near Tsuruma and Yamato stations which formerly belonged to the Koza Naval Arsenal. We have heard a plan to accommodate 200 repatriators from abroad in these houses, so we are extending facilities and endeavoring to make it a source of suppling laborers for the Air Base in juture.

Shigeo Imai,
Chief of the
Atsugi Liaison Office.

0153

Appendix 1

Prospectus of establishment of the P.U. labor association for the Occupation Forces.

As it is an important duty of the Japanese Government to supply labor for the Occupation Forces, for the execution of Potsdam Declaration, but the fact is that the present condition of labores far from the satisfaction of the Occupation Forces as efficiency of labor has been greatly lowered and decreasing in number of laborers gradually.

The reason of this must be unbalancing between wages and prices, unsmoothness of distribution and shortage of food, increasing change of employments to more profittable labor such as farming or industry, unrest of living, and psychological influence of defeatism of war and many other complicated reasons confused, so it is very difficult to give a solution, but it is the problem which must be settled.

If this prro condition continues, it would give an idea to the Occupation Forces that Japanese laborers' character and ability is so untrustable and this will lead to an unaveidable apprehension to the trust of the country. Therefore, we feel keenly that it is absolutely essential to have a counter plan which will overthrow fundamentally this difficult situation immediately.

Taking this problem into careful consideration, its correspondng nature must be due to some spiritual matters and shortage of food, so far its remedy, by training systematically, to clear away all this spiritually collapsed condition and to take a deselute step to reform the way of food life jundamentally.

At the same time we must take an immediate action to manufacture nutritious food and to enforce a complete digesting training to let them feel at ease and let them trust for this matter permanently. It is our unneglectable duty to train up better laborers who will be the foundation stones to build up new Japan.

Our association has been established to carry out this principle thoroughly, and beg your kind encouragement and help.

7th. June, 1946.

0154

RH'-0021

0104

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

Outline of the P.U. Labor Association
for Occupation Forces

1. Aims : To increase efficiency of Occupation Forces' laborers by training based upon P.U. principles.
2. Organization : Head Office, 5 Koyamacho, Mita, Shiba-ku, Tokyo.
Branch Office, locality of Occupation Forces
(1st. installed station at Atsugi district).
Officers, 1 chief, 1 assistant chief, 1 directors,
1 auditor, (elected by member).
3. Membership : Occupation Forces' laborers, also these who are connected with the Association.
4. Works :
- a. Class---50 men in one class.
1st.----(during the month of Aug.) one class.
2nd.----(" " " " " Sept.) five classes.
 - b. Training---fundamental training (2--10 days) which is necessary for real living at Okurayama Cultural Science Institute.
Laborers' home at Yamato -- during daytime, working for Occupation Forces. Sundays, raining days and nights, training of science and technique.
 - c. Food and dwelling---cooking and supply of P.U. nutritious food. Management of laborers' home.
 - d. Movement---P.U. way of food life, and laboring.
 - e. Education---P.U. leading principles, problem of current events, Occupation Forces' labor conditions, English, fundamental science (sociology, culture, economics, politics, law, physiology, psychology).

Accountance : Fees, donations, subsidy, profit.

Appendix 2

AIMS of the UNION of JOINT REAL LIVING

Let us make our ~~home~~ first
where there is no quarrel

- (1) We shall build our country where there is no quarrel by our own hands.
- (2) All quarrels start from struggling of food.
- (3) Homes and countries of the world where there is no quarrel.
The world where there is no quarrel from steadiness of living.
The homes where there is no quarrel from orderly of living.
Stability of living from steady distribution.
Aim of living from health and comfort.
Health and happiness from correct food life.
Real living is from sound food life.
- (4) Grasp the principle of food life of world's common and equality.
- (5) There is no peace and liberty where there is no sound food life.

Elements of food life :

Quantity of food, Quality of food, Combination of food.

RULES of the UNION of JOINT REAL LIVING

- 1. Name : Union of Joint Real Living.
- 2. Address : Head Office - 5 Koyamachi, Mita, Shiba-ku, Tokyo.
Branch Office- Tokyo and other principle towns.
- 3. Purpose : Maintenance of real living, friendliness and

RH'-0021

0105

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records
National Archives of Japan

電信寫

74901

外務省

昭和二一 四六〇三 平

大分 八月八日 九日 十日 十一日 十二日 格股

青田 經 義

大分 縣 知 事

七月分 勞務月報

(勞務月報に關する件)

- A. 一五三七名
- B. 一五五三名
- C. 一六七七名
- D. 九七四一名
- E. なし

圖有先 文、電、給紙書、給紙帳、管、經

(丁)



0156

4. Works : cooperation of members which based upon P.U. spirit.
1. Publication and short course about real living principle which maintain health and happiness.
 2. Production, treatment work, purchasing, exchange and distribution of essential articles for real living, viz. - clothes, food and dwellings.
 3. Improvement of technical method and knowledge, exchange of works.
 4. Establishment of Health Schools and management of Drill Hall and Mess room.
 5. Other suitable business to accomplish the purpose of the union.
5. Officers : 1 Chief, 2 Assistants, a few Directors, Auditors, Advisers, and consultants.
6. Membership : Paying for a share (Y 100) or mere, or sending in any article of equal value. Those who are recommended by the board.
7. Entrance Fee : Y 20 per person.
8. Privileges : Free distribution of Union paper " Compa " Free consultation about health, living, and education. Recommendation of exchange of necessary articles.
9. Entrance & Retirement : At personnel will (on retirement, all shares will be refunded.)
10. Meeting : Will be held when it is necessary, by chief's will.
- 11 Accountance : Controlled by chief, and open to all members.

0157

RH'-0021

0106

外交史料館

Diplomatic Archives of the Ministry of Foreign Affairs of Japan

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

National Archives of Japan